

附属明細書

<資料 - 1>	令和7年度 日程順経過報告	P 1
<資料 - 2>	令和7年度 会議室利用状況	P 3
<資料 - 3>	おしごと広場みえ運営総合事業 令和7年度事業報告	P 4
<資料 - 4>	地域若者サポートステーション事業 令和7年度事業報告	P20
<資料 - 5>	生活困窮者及び被保護者就労準備支援事業 令和7年度事業報告	P30
<資料 - 6>	令和7年度 会館維持管理・法定点検状況表	P33
<資料 - 7>	令和7年度 自動販売機「販売数・手数料」一覧表	P34
<資料 - 8>	第4期中期経営計画（令和6年度～令和8年度計画）	P35
<資料 - 9>	第4期中期経営計画 令和7年度取組結果	P37
<資料 - 10>	第4期中期経営計画（令和6年度～令和8年度計画）【見直し】	P40

令和7年度 日程順経過報告

月 日(曜日)	内 容	開催場所
令和7年 4月 2日(水)	36協定届出	津労働基準監督署
4月 4日(金)	無料職業紹介事業役員変更手続き(最終確認)	三重労働局
4月21日(月)	【三重県労福協】はなしょうぶ編集委員会	三重県労福協会議室
4月26日(土)	【連合三重】第96回三重県中央メーデー	津市「お城西公園」
5月 7日(水)	【三重県労福協】第7回理事会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
5月 7日(水)	令和7年度第1回理事会	みなし決議
5月 9日(金)	令和7年度第2回理事会	みなし決議
5月14日(水)	就業規則変更届出	津労働基準監督署
5月15日(木)	令和7年度監事会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
5月15日(木)	令和7年度第1回就労支援事業統括者会議	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
5月15日(木)	令和7年度第1回評議員会	みなし決議
5月20日(火)	評議員変更登記届出	津地方務局
5月27日(水)	令和7年度第3回理事会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
5月29日(木)	評議員変更登記届出完了(原本還付)	津地方務局
6月 9日(月)	就労支援事業統括者打合せ	三重県勤労者福祉会館 第3会議室
6月11日(水)	【三重県労福協】第1回事業推進会議	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
6月12日(木)	中部会館協議会第1回幹事会、令和7年度定期総会(～13日)	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
6月13日(金)	会館空調設備改修工事完了・引き渡し	三重県労働福祉協会 事務所
6月16日(月)	第13回定時評議員会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
6月19日(木)	【ゆとり協会】2025年度定時評議員会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
6月20日(金)	【三重県住宅生協】第61回通常総代会	三重県勤労者福祉会館 講堂
6月23日(月)	【東海労働金庫】第24回通常総会	愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
6月25日(水)	理事変更登記届出	津地方務局
7月 8日(火)	理事変更登記完了・原本返還	津地方務局
7月 8日(火)	無料職業紹介事業期間更新申請手続き	三重労働局
7月 8日(火)	【三重県労福協】第1回理事会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
7月22日(火)	【三重県労福協】はなしょうぶ編集委員会	三重県労福協会議室
7月22日(火)	【津保健所保健衛生室健康増進課】喫煙室風量測定	6F・BF喫煙室
8月27日(水)	令和7年度第1回会館管理運営委員会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
9月24日(水)	【三重県労福協】防災・減災意識の啓発と啓蒙の講演会	三重県勤労者福祉会館 講堂
9月24日(水)	【三重県労福協】第2回事業推進会議	三重県勤労者福祉会館 講堂
9月29日(月)	【三重労働局】公正採用選考研修会	三重県伊賀庁舎 7F
10月16日(木)	中部会館協議会 令和7年度 第2回幹事会(～17日)	彦根勤労福祉会館「たちばな」
10月20日(月)	【三重県労福協】第2回理事会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
10月28日(火)	【連合三重】第37回定期大会	アスト津 4F アストホール
10月30日(木)	令和7年度第1回消防(防災)訓練事前打ち合わせ会議	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
11月 4日(火)	有料・無料職業紹介事業許可証交付式(有効期間更新)	三重労働局 地下会議室
11月13日(木)	令和7年度第2回就労支援事業統括者会議	三重県勤労者福祉会館 第4会議室
11月17日(月)	令和7年度第1回消防(防災)訓練	三重県勤労者福祉会館
11月27日(木)	令和7年度第7回理事会	三重県勤労者福祉会館
12月12日(金)	【三重県労福協】勤労福祉に関連した政策福祉研修会	三重県勤労者福祉会館 講堂
12月12日(金)	【三重県労福協】第3回事業推進会議	三重県勤労者福祉会館 講堂
12月26日(金)	三重県労福協・連合三重・事業団体野外交流会	

令和8年 1月 4日(日)	【伊勢志摩労福協】2026年新年祝賀会	伊勢志摩労福協会館・伊勢シティホテル
1月 6日(火)	【連合三重】2026新春旗びらき	ホテルグリーンパーク津
1月16日(金)	【三重県労福協】第3回理事会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
1月20日(火)	【三重県労福協】はなしょうぶ編集委員会	三重県労福協会議室
1月21日(水)	文化事業「Scent of Flower 春の香りを束ねるひととき」	三重県勤労者福祉会館 講堂
1月23日(金)	文化事業「Scent of Flower 春の香りを束ねるひととき」	三重県勤労者福祉会館 講堂
1月27日(火)	令和7年度指名審査会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
2月 6日(金)	【三重県労福協】第4回事業推進会議	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
2月10日(火)	【三重県労福協】総務委員会	三重県勤労者福祉会館 第4会議室
2月12日(木)	令和7年度第2回会館管理運営委員会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
2月16日(月)	令和7年度入礼会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
2月18日(水)	文化事業「Scent of Flower 春の香りを束ねるひととき」	三重県勤労者福祉会館 研修室
2月20日(金)	文化事業「Scent of Flower 春の香りを束ねるひととき」	三重県勤労者福祉会館 研修室
2月25日(水)	文化事業「Scent of Flower 春の香りを束ねるひととき」	三重県勤労者福祉会館 講堂
2月27日(金)	文化事業「Scent of Flower 春の香りを束ねるひととき」	三重県勤労者福祉会館 講堂
2月18日(水)	中部会館協議会第3回幹事会(～19日)	石川県勤労者福祉会館「フレンドパーク石川」
3月10日(火)	第30回連合・労福協チャリティーゴルフコンペ実行委員会	三重県労福協会議室
3月13日(金)	令和7年度第2回消防(防災)訓練	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
3月17日(火)	【三重県労福協】第4回理事会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
3月17日(火)	【ゆとり協会】2025年度第1回臨時評議員会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
3月19日(木)	令和7年度第8回理事会	三重県勤労者福祉会館
3月23日(月)	連合・労福協役員選考委員会	三重県労福協会議室
3月31日(火)	令和7年度第9回理事会	みなし決議

令和7年度 会議室別利用状況 前年度比較

【令和7年度】

区分	4月分		5月分		6月分		7月分		8月分		9月分		10月分		11月分		12月分		1月分		2月分		3月分		合計			
	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
講堂 180	5		3		7		4		4		9		5		3		2		5		0		2		49			
	24	58%	24	56%	29	72%	37	82%	33	80%	30	85%	40	90%	31	81%	16	38%	37	95%	36	86%	31	72%	368	74.2%		
	29		27		36		41		37		39		45		34		18		42		36		33		417			
研修室 60	6		9		4		1		2		0		0		5		5		1		3		1		37			
	6	24%	13	46%	23	54%	43	88%	40	91%	39	85%	57	114%	38	102%	18	48%	34	80%	32	83%	14	33%	357	70.1%		
	12		22		27		44		42		39		57		43		23		35		35		15		394			
第4 会議室 12	4		0		2		5		5		2		2		0		2		7		4		3		36			
	12	32%	10	21%	14	32%	9	28%	9	30%	8	22%	7	18%	19	45%	8	21%	34	93%	18	52%	12	33%	160	34.9%		
	16		10		16		14		14		10		9		19		10		41		22		15		196			
第3 会議室 10	2		5		6		3		2		4		3		2		5		3		2		5		42			
	17	38%	18	48%	19	50%	33	72%	29	67%	21	54%	27	60%	23	60%	12	35%	30	75%	18	48%	10	33%	257	53.2%		
	19		23		25		36		31		25		30		25		17		33		20		15		299			
第2 会議室 30	9		5		3		5		3		5		5		10		5		7		4		6		67			
	9	36%	12	35%	18	42%	12	34%	10	28%	14	41%	8	26%	6	38%	8	27%	17	55%	22	62%	18	52%	154	39.3%		
	18		17		21		17		13		19		13		16		13		24		26		24		221			
特別 会議室 30	3		4		5		4		4		8		8		1		2		5		7		2		53			
	8	22%	8	25%	11	32%	9	26%	8	26%	5	28%	4	24%	14	36%	8	21%	18	52%	10	40%	12	30%	115	29.9%		
	11		12		16		13		12		13		12		15		10		23		17		14		168			
計	29		26		27		22		20		28		23		21		28		28		20		19		284			
	76	35%	85	39%	114	47%	143	55%	129	54%	117	53%	143	55%	131	60%	70	32%	170	75%	136	62%	97	42%	1,411	50.3%		
	105		111		141		165		149		145		166		152		91		198		156		116		1,695			
会議室 稼働日数	25	5休	24	7休	25	5休	25	6休	23	8休	23	7休	25	6休	21	9休	24	7休	22	9休	21	7休	23	8休	281	84休		
	30		31		30		31		31		30		31		30		31		31		28		31		365			

【令和6年度】

0

区分	4月分		5月分		6月分		7月分		8月分		9月分		10月分		11月分		12月分		1月分		2月分		3月分		合計			
	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率	労働 一般	稼働 率
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
講堂 180	5		4		10		1		6		8		4		3		2		4		1		1		49			
	11	33%	20	50%	13	46%	33	68%	36	88%	27	83%	35	78%	25	61%	17	41%	17	50%	24	60%	19	40%	277	58.0%		
	16		24		23		34		42		35		39		28		19		21		25		20		326			
研修室 60	4		7		4		1		2		0		1		5		3		8		4		8		47			
	8	25%	19	54%	25	58%	45	92%	45	98%	47	112%	46	94%	25	65%	13	35%	20	67%	33	88%	11	38%	337	68.3%		
	12		26		29		46		47		47		47		30		16		28		37		19		384			
第4 会議室 12	1		1		2		11		7		9		3		2		6		3		1		2		48			
	7	17%	9	21%	11	26%	5	32%	6	27%	8	40%	17	40%	10	26%	4	22%	14	40%	22	55%	7	18%	120	29.9%		
	8		10		13		16		13		17		20		12		10		17		23		9		168			
第3 会議室 10	5		4		7		8		5		4		7		2		3		1		3		4		53			
	7	25%	14	38%	21	56%	11	38%	32	77%	23	64%	30	74%	15	37%	5	17%	28	69%	25	67%	11	30%	222	48.9%		
	12		18		28		19		37		27		37		17		8		29		28		15		275			
第2 会議室 30	3		5		4		7		0		9		6		6		7		6		7		7		67			
	5	17%	15	42%	18	44%	7	28%	8	17%	12	50%	16	44%	10	35%	12	41%	15	50%	19	62%	15	44%	152	39.0%		
	8		20		22		14		8		21		22		16		19		21		26		22		219			
特別 会議室 30	2		5		6		3		2		6		6		4		4		0		7		5		50			
	6	17%	10	31%	10	32%	12	30%	7	19%	13	45%	12	36%	9	28%	6	22%	23	55%	21	67%	14	38%	143	34.3%		
	8		15		16		15		9		19		18		13		10		23		28		19		193			
計	20		26		33		31		22		36		27		22		25		22		23		27		314			
	44	22%	87	39%	98	44%	113	48%	134	54%	130	66%	156	61%	94	42%	57	30%	117	55%	144	66%	77	35%	1,251	46.4%		
	64		113		131		144		156		166		183		116		82		139		167		104		1,565			
会議室 稼働日数	24	6休	24	7休	25	5休	25	6休	24	7休	21	9休	25	6休	23	7休	23	8休	21	10休	21	7休	25	6休	281	84休		
	30		31		30		31		31		30		31		30		31		31		28		31		365			

三重県 受託事業

おしごと広場みえ運営総合事業 令和7年度事業報告

1 事業目的

本事業は、若者等の就労支援を総合的にワンストップで提供する「おしごと広場みえ」において、県内での就職を希望する若年求職者や就職氷河期世代を中心とする中高年世代等のニーズに応じてきめ細やかな就労支援サービスを提供するとともに、企業の人材確保に対するニーズに対して、県等が取り組む各種 U・I ターン事業に参加体験した若年求職者等を、就職支援サービス等に誘引することで、県内企業の人材確保と若者の県内定着につなげることを目的としています。

また、「美し国みえ 移住相談センター」へ就職相談アドバイザーを配置することで、首都圏からの人材還流の取組との連携強化を図ります。

2 履行場所

- (1)「おしごと広場みえ」運営事業
「おしごと広場みえ」
(三重県津市羽所町 700 番地 アスト津 3 階)
- (2)首都圏における就職相談アドバイザー事業
「美し国みえ 移住相談センター」
(東京都千代田区有楽町 2-10-1 ふるさと回帰支援センター内)
- (3)就職氷河期世代等活躍応援事業
「マイチャレ三重」
(三重県津市羽所町 700 番地 アスト津 3 階 「おしごと広場みえ」内)

3 履行期間

令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

4 対象者

以下の者を対象とし、求職者については、三重県内の企業に就職を希望する者をいう。

- ・県内外の大学・短大・専門学校・高専等に在学する者
- ・34歳以下の若年者
- ・就職氷河期世代を中心とする中高年世代(現在、非正規雇用または無業の状態で、安定した就職を目指している概ね35歳から59歳までの者)
- ・U・Iターン就職を希望している者
- ・採用活動に取り組む県内企業
- ・学生等の県内定着に理解のある県内外大学 等

5 業務内容

(1)提供するサービス

総合受付、キャリアコンサルティング業務、U・I ターン促進業務、若年求職者や就職氷河期世代を中心とする中高年世代等を対象とした就職支援事業、県内企業の人材確保支援事業、県内外大学の協力を得て実施する学生等の県内就職に向けた就職支援業務、既卒女性への就職支援業務 等

なお、「おしごと広場」「美し国みえ 移住相談センター」及び「マイチャレ三重」では、職業紹介業務は行わない。(併設する「みえ新卒応援ハローワーク」で実施のため)

(2)開所時間

①「おしごと広場みえ」運営事業

平日 午前9時から午後6時まで

第1・第3土曜日 午前10時から午後5時まで（別紙1参照）
 （土曜日（第1・第3土曜日を除く）、日曜日、祝日及び12月29日から1月3日は閉所）

②首都圏における就職相談アドバイザー事業

「美し国みえ 移住相談センター」

午前10時から午後6時まで（月曜日、祝日及び12月29日から1月3日は閉所）

③就職氷河期世代等活躍応援事業（マイチャレ三重）

平日 午前9時から午後6時まで

第1・第3土曜日 午前10時から午後5時まで（別紙1参照）

（土曜日（第1・第3土曜日除く）、日曜日、祝日及び12月29日から1月3日は閉所）

(3)実施する具体的な業務内容

①「おしごと広場みえ」運営事業

I キャリアコンサルティング業務

利用者のニーズに応え、対面のほか Web 会議システム「Zoom」を使ったオンライン対応を積極的に実施しました。

（キャリアコンサルティングの実施）

表1 キャリアコンサルティング実績（目標値：年間900件以上）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
対面	51	36	58	62	45	21
オンライン	9	17	21	20	6	2
電話・メール	0	0	9	5	7	0
合計	60	53	88	87	58	23

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対面	45	33	42	39	38	56	526
オンライン	7	7	8	24	11	15	147
電話・メール	2	12	1	2	3	3	44
合計	54	52	51	65	52	74	717

○土曜日相談の実施及び開所時間の拡大

毎月第1・第3土曜日に開所日を設置しました。

また、開所時間を10時から17時までに拡大しました（令和6年度は11時から17時まで）。

利用者数：82名

○2026 就活スタートセミナーの開催

(1)「自己理解の重要性と自分発見」

開催日時：2月27日（金）13:00～14:30

開催場所：アスト津3階 県民交流センター ミーティングルームA

参加者数：1名

(2)「自分らしさを応募書類に反映しよう」

開催日時：3月4日（水）13:00～14:30

開催場所：アスト津3階 県民交流センター ミーティングルームA

参加者数：4名

II 県内企業のニーズ・課題の把握

県内中小企業等の人材確保や定着、離職防止等、企業の課題やニーズを把握するため、専門職員を配置し、県内企業を直接訪問し、情報交換、ならびに「おしごと広場みえ」の活動状況の共有やサポーター企業制度の紹介等を行いました。（別紙2参照）

表2 県内企業への訪問実績(目標値:年間100社以上) (参考)昨年度県内企業訪問実績

月	訪問	オンライン	月	訪問	オンライン
4月	3	0	4月	9	0
5月	14	0	5月	11	0
6月	2	0	6月	10	1
7月	14	0	7月	7	0
8月	24	0	8月	10	0
9月	7	0	9月	11	0
10月	33	0	10月	2	0
11月	3	0	11月	5	0
12月	1	0	12月	5	0
1月	24	0	1月	10	0
2月	5	0	2月	14	0
3月	0	0	3月	1	0
合計	130	0	合計	95	1
総計	130		総計	96	

III 県内・県外大学の学生の動向・課題の把握

ア 県内大学

県内就職を促進するため意見交換等及び情報収集のため、県内大学を訪問しました。

なお、5月と6月は、三重県、みえ新卒応援HW、東京リーガルマインドとともに訪問しました。

表3 県内大学への訪問実績(目標値:延べ25回以上)

日程	訪問大学
4月	三重大学 計1校
5月	四日市大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿大学、高田短期大学、三重大学、三重短期大学 計6校
6月	皇學館大学 計1校
10月	鈴鹿医療科学大学、三重大学、鈴鹿大学、四日市大学、皇學館大学、高田短期大学、三重短期大学 計7校
11月	鳥羽商船高等専門学校 計1校
12月	大原簿記情報医療専門学校、三重県立津高等技術学校、中部ライテックビジネス専門学校、三重大学、鈴鹿大学、四日市大学、皇學館大学、三重短期大学、高田短期大学 計9校
2月	三重短期大学、鈴鹿医療科学大学、三重大学、高田短期大学、四日市大学、鈴鹿大学 計6校
3月	皇學館大学 計1校
合計	32回

イ 県外大学

中京・近畿圏大学を訪問し、大学の就職担当者との面談を通じて学生の動向、三重県の企業情報等の情報共有を図りました。(別紙3参照)

表4 県外大学への訪問実績

(目標値:延べ56回以上(中京圏20回、近畿圏20回、UIターン相談会16回))

月	訪問(UIターン相談会含む)			オンライン(UIターン相談会含む)		
	中京圏	近畿圏	計	中京圏	近畿圏	計
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0

6月	0	9	9	0	2	2
7月	5	7	12	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	9	1	10	0	1	1
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	10	10	1	0	1
12月	0	7	7	0	0	0
1月	1	0	1	0	0	0
2月	0	3	3	0	1	1
3月	0	0	0	0	0	0
合計	15	37	52	1	4	5

訪問・オンライン合計 57回

IV インターンシップ等の促進

ア インターンシップ等を行う県内企業による説明会の開催

(目標値:1回以上、参加者40名以上、参加企業20社以上)

合同企業説明会(若年層)を開催しました。(別紙4参照)

開催日時:令和8年1月24日(土) 11:00~16:00

開催場所:アスト津3階 みえ県民交流センター 交流スペース

主催:三重県 後援:三重労働局

運営:三重県労働福祉協会

参加企業数:20社

参加者数:40名

V 近畿圏における就職相談の実施

関西事務所における就職相談については、「おしごと広場みえ」のHPで周知するとともに大学側の協力を得ながら実施しました。

表5 関西事務所における就職相談実績(目標値:月2回開催)

月	対面	Web	合計	詳細
4月	—	—	—	
5月	—	—	—	
6月	—	—	—	
7月	0	1	1	関西事務所2回実施
8月	0	3	3	関西事務所2回実施
9月	0	1	1	関西事務所2回実施
10月	0	1	1	関西事務所2回実施
11月	1	0	1	関西事務所2回実施
12月	0	0	0	関西事務所2回実施 予約なし
1月	0	1	1	関西事務所2回実施
2月	1	1	2	関西事務所2回実施
3月	0	2	2	関西事務所2回実施
合計	2	10	12	

VI 既卒女性への就職支援

ア 女性のための就職相談窓口の設置

(ア) 「おしごと広場みえ」における女性専用相談会

月2回、「おしごと広場みえ」において、女性相談窓口を設置し、相談業務を実施しました。対面及びオンラ

インでの相談に加え、電話、メールでの相談も受け付け可能としていました。

(イ) 県内各地域への出張相談会(月1~2回程度)

月1回、県内の子育て支援センター等を巡回し、出張相談会を実施しました。

表6 女性相談実績

	おしごと広場みえ			県内出張相談	
	対面	オンライン	電話・メール	相談者数	開催場所
4月	8	0	0	—	
5月	1	0	0	—	
6月	8	0	0	—	
7月	11	0	0	0	松阪市・ワークセンター松阪
8月	3	0	0	—	
9月	9	0	0	0	鈴鹿市・ジェフリーすずか
10月	20	0	0	2	松阪市・ワークセンター松阪
11月	17	0	0	3	鈴鹿市・ジェフリーすずか
12月	9	0	0	1	伊勢市・浦田ビル
1月	16	0	0	1	伊勢市・浦田ビル
2月	10	0	0	1	伊勢市・浦田ビル
3月	18	0	0	—	
合計	130	0	0	8	

イ 女性求職者等への周知

女性求職者を掘り起こすことを目的とし、県内各地を巡回し、出張相談を行いました。

また、公益財団法人 三重県産業支援センター令和7年度三重県地域活性化雇用創造プロジェクト「女性の就職支援事業」「女性求職者と県内企業マッチング促進事業」と連携し、女性求職者の掘り起こし及び周知を図りました。

② 首都圏における就職支援アドバイザー事業

対面相談だけでなく、オンラインやメールを使用してのU・Iターン就職相談や、大学との面談を積極的に行い、事業実施に努めました。

I 首都圏における就職相談等の実施

ア 就職相談アドバイザーの配置

(ア) 移住相談センターにおける就職相談・企業情報の提供

対面やオンライン等による就職相談や企業情報の提供を行いました。

表7 首都圏 移住相談センターにおける就職相談・紹介・企業情報の提供実績

(目標値:就職相談件数 延べ200件以上(新規150件以上))

	個別相談					合計	うち新規
	対面	オンライン	電話	メール			
4月	2	2	2	0	6	4	
5月	3	3	0	0	6	6	
6月	9	3	0	7	19	12	
7月	7	2	0	0	9	9	
8月	5	2	1	0	8	8	
9月	19	1	0	3	23	19	
10月	6	1	0	2	9	7	
11月	18	2	0	0	20	20	
12月	13	1	1	4	19	13	

1月	6	3	0	2	11	9
2月	6	2	1	0	9	8
3月	8	2	2	7	19	9
合計	102	24	7	25	158	124

(イ) U・Iターン就職セミナーの開催

(1)「みえの地域のおしごと事情」

開催日時:令和7年6月28日(土) 11:45～13:15 オンライン開催

主催:三重県 共催:認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

運営:三重県労働福祉協会

参加自治体数:3自治体(鈴鹿市、津市、松阪市)

参加者数:9名

(2)「みえの移住×就職のリアル<先輩にいろいろ聞いてみよう>」

開催日時:令和7年9月28日(日) 13:00～14:30 ハイブリッド開催

主催:三重県 共催:認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

運営:三重県労働福祉協会

参加企業数:3社(エイベックス株式会社、有限会社ギルドデザイン、株式会社三ツ知製作所)

参加者数:5名(会場2名、オンライン3名)

(3)「はたらく親も安心!みえの子育て後援企業」

開催日時:令和7年12月14日(日) 11:00～12:30 オンライン開催

主催:三重県 共催:認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

運営:三重県労働福祉協会

参加企業数:3社(宇野重工株式会社、株式会社松阪電子計算センター、株式会社安永)

参加者数:3名

(4)「みえで叶える田舎ぐらしと働き方」

開催日時:令和8年3月8日(日) 17:00～18:30 ハイブリッド開催

主催:三重県 共催:認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

運営:三重県労働福祉協会

参加自治体数:3自治体(鳥羽市、伊賀市、紀宝町)

参加者数:10名(会場2名、オンライン8名)

(ウ) 大学生のU・Iターン就職支援

大学を訪問しての面談やオンラインの活用により、大学キャリアセンター担当者との関係構築に努めました。

また、各大学が開催するU・Iターン就職相談イベントに参加しました。

表8 首都圏大学 U・Iターン就職支援実績

	首都圏の主な大学の就職担当課訪問及び就職イベント参加 (目標:延べ50回以上)				
	就職担当課訪問		就職イベント参加		
	対面	オンライン	対面	オンライン	詳細
4月	0	0	0	0	
5月	2	0	0	1	専修大学 (0名)
6月	6	1	1	0	神奈川大学 (1名)
7月	4	0	0	1	東海大学 (0名)
8月	6	0	0	0	
9月	4	0	0	0	
10月	2	1	0	0	

11月	1	0	1	0	神奈川大学（0名）
12月	6	0	1	1	東京農業大学（1名） 創価大学（1名）
1月	2	0	0	1	東京都立大学（1名）
2月	1	0	0	0	
3月	3	0	0	0	
合計	37	2	3	4	
総計	46				

(エ) PR・情報発信

業務委託仕様書どおり適切に履行しました。

(オ) 運営管理調整

業務委託仕様書どおり適切に履行しました。

③ 就職氷河期世代等活躍応援事業

I 支援対象者への就労サポート

「おしごと広場みえ」での相談業務に加え、月2回(第1・第3土曜日)の土曜開所を実施しています。

また、今年度はHW 遠隔地(亀山市、菟野町)に出向き「出張相談会」を実施しました。

就職氷河期世代等の就職支援情報について、「おしごと広場みえ」HP への掲載及び県下各 HW へのチラシの配架など広報に努めました。

ア 対面及びオンラインによる同時双方向型カウンセリング(目標値:週30回以上の実施枠設置)

業務委託仕様書どおり適切に履行しました。

イ メール等によるカウンセリング

業務委託仕様書どおり適切に履行しました。

表9 カウンセリング実績(目標値:延べ700件以上)

	対面	電話 web 音声	web 面談	チャット	メール	合計
4月	32	2	1	0	4	39
5月	19	8	1	0	0	28
6月	20	4	3	0	0	27
7月	44	8	4	0	0	56
8月	39	5	6	0	0	50
9月	43	7	4	0	0	54
10月	45	11	5	0	1	62
11月	43	10	2	0	5	60
12月	47	14	5	0	7	73
1月	39	18	7	0	2	66
2月	48	18	5	0	11	82
3月	64	12	3	0	3	82
合計	483	117	46	0	33	679

○土曜日相談の実施及び開所時間の拡大

毎月第1・第3土曜日に開所日を設置しました。

また、開所時間を10時から17時までに拡大しました(令和6年度は11時から17時まで)。

利用者数:195名

○利用者向けミニセミナーの実施

- (1)就活 Mind Up 安定した就職をめざして！
 開催日時:令和7年6月7日(土) 10:00~11:00
 開催場所:おしごと広場みえ
 主催:三重県 運営:三重県労働福祉協会 マイチャレ三重
 参加者数:1名
- (2)ゆるっと交流会
 開催日時:令和8年1月31日(土) 12:00~15:00
 開催場所:アスト津3階 みえ県民交流センター 交流スペース
 主催:三重県 運営:三重県労働福祉協会 マイチャレ三重
 参加者数:7名
- (3)ゆるっと交流会
 開催日時:令和8年2月28日(土) 10:15~13:00
 開催場所:アスト津3階 みえ県民交流センター 交流スペース
 主催:三重県 運営:三重県労働福祉協会 マイチャレ三重
 参加者数:3名
- (4)ワークショップ
 開催日時:令和8年3月7日(土) 10:30~12:00
 開催場所:おしごと広場みえ
 参加者数:4名
- (5)ワークショップ
 開催日時:令和8年3月10日(火) 10:30~12:00
 開催場所:おしごと広場みえ
 参加者数:2名

II 受入企業の開拓

県内の企業・関連機関を訪問し、事業の周知及び協力依頼を行いました。

表10 県内企業訪問実績及び就業体験・社会体験受入企業数 (別紙5参照)

(県内企業訪問目標値:140か所以上、(受入企業目標値:15社以上)

	企業訪問	WEB 面談	合計	就業体験 社会体験 受入企業数
4月	2	0	2	0
5月	13	0	13	0
6月	2	0	2	0
7月	4	0	4	0
8月	10	0	10	0
9月	3	0	3	1
10月	42	0	42	0
11月	3	0	3	0
12月	10	0	10	0
1月	43	0	43	0
2月	28	0	28	0
3月	7	0	0	21
合計	167	0	167	22

III 県内企業向けセミナー開催(目標値:1回あたり15社以上)

開催日時:令和8年3月5日(木) 13:30~15:50

開催場所:アスト津4階 会議室3

主催:三重県

後援:三重労働局、三重県経営者協会、三重県商工会議所連合会、三重県商工会連合会、三重県
中小企業団体中央会、三重県産業支援センター

運営:三重県労働福祉協会 マイチャレ三重

参加企業数:34社

参加者数:39名

IV 支援機関向け研修会開催(目標値:1回以上・2時間程度)

開催日時:令和8年3月18日(水) 10:00~12:50

開催場所:アスト津3階 ミーティングルームA・B

主催:三重県

運営:三重県労働福祉協会 マイチャレ三重

参加者数:20名

V 合同企業説明会の開催(目標値:2回以上・1回あたり10社以上・延べ50名以上)

(1)第1回合同企業説明会 (別紙8参照)

開催日時:令和7年7月19日(土) 11:00~16:00

開催場所:アスト津5階 ギャラリー1

主催:三重県 後援:三重労働局

運営:三重県労働福祉協会 マイチャレ三重

参加企業数:10社

参加者数:20名

(2)第2回合同企業説明会 (別紙9参照)

開催日時:令和8年2月14日(土) 13:30~16:30

開催場所:おしごと広場みえ

主催:三重県 後援:三重労働局

運営:三重県労働福祉協会 マイチャレ三重

参加企業数:10社

参加者数:22名

(3)第3回合同企業説明会 (別紙10参照)

開催日時:令和8年3月1日(土) 13:00~16:00

開催場所:松阪市産業振興センター 3階研修ホール

主催:三重県 後援:三重労働局

運営:三重県労働福祉協会 マイチャレ三重

参加企業数:11社+社会福祉協議会 福祉人材センター

参加者数:33名

VI 各種支援情報広報強化業務

ア 活用事例取材・投稿記事作成

支援機関の情報をSNSで発信しました。

イ チラシ作成

業務委託仕様書どおり適切に履行しました。

ウ SNS 広告配信

県内在住の就職氷河期世代を中心とする中高年世代等を対象に SNS(X、Meta(Facebook、Instagram)) 広告を配信しました。

- ① 合同企業説明会(7月19日・津)
X:7月7日～7月18日、Meta:7月2日～7月18日
- ② 就職相談
X:10月6日～10月15日、X:10月16日～10月30日、Meta:10月16日～10月30日
- ③ 合同企業説明会(2月14日・津、3月1日・松阪)
(津)X:2月4日～2月13日、Meta:2月4日～2月13日
(松阪)X:2月17日～2月28日、Meta:2月17日～2月28日
- ④ 企業向けオンラインセミナー(3月5日)
X:2月24日～3月2日、Meta:2月24日～3月2日

エ 目標設定

(ア) 目標設定

SNS 広告実行全体計画を作成し、県と協議を行い、上記ウについての広告を配信しました。

オ 留意事項

業務委託仕様書(ア)から(イ)について適切に履行しました。

④ 運営管理に係る業務

I 運営・管理業務

ア 施設の維持・管理

業務委託仕様書(ア)から(オ)について適切に履行しました。

イ 物品等の維持管理

業務委託仕様書(ア)から(エ)について適切に履行しました。

ウ 利用者情報の登録管理

(ア) 利用者登録

業務委託仕様書 a から c について適切に履行しました。

(イ) 利用・就職状況の把握

a. 延べ利用者、新規登録者、就職者数及び就職率について把握し、毎月「現場代表者会議」にて関係機関と共有しました。

b. 利用者アンケートの実施

10月・2月の2回実施しました。

エ 利用者情報の分析や評価検証、活用

(1) 利用者、新規登録者、就職者数及び就職率の集計を行いました。(別紙13参照)

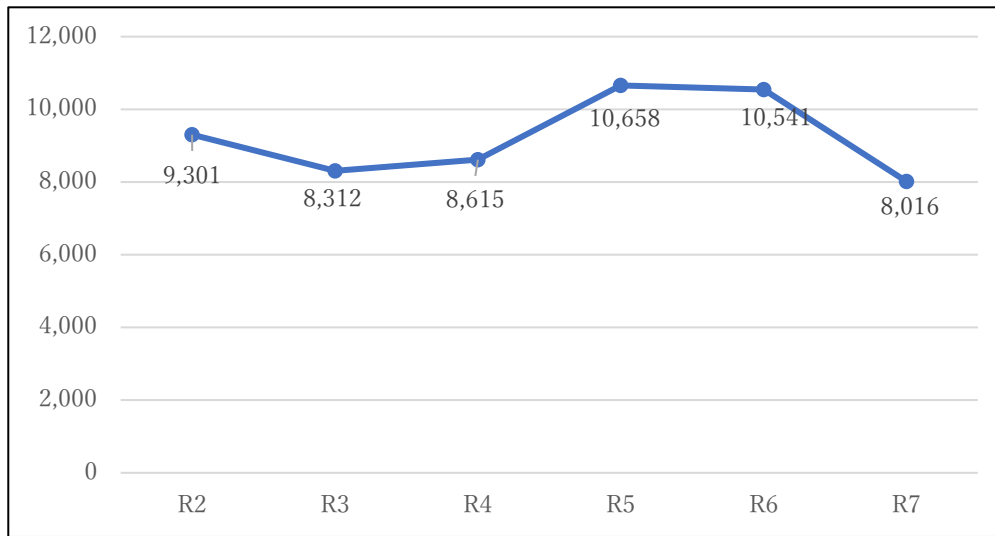
① 延べ利用者数:(年度目標) 9,800人

対前年比: 76.0%

表11 延べ利用者数

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
年度合計	9,301	8,312	8,615	10,658	10,541	8,016

グラフ1 延べ利用者数

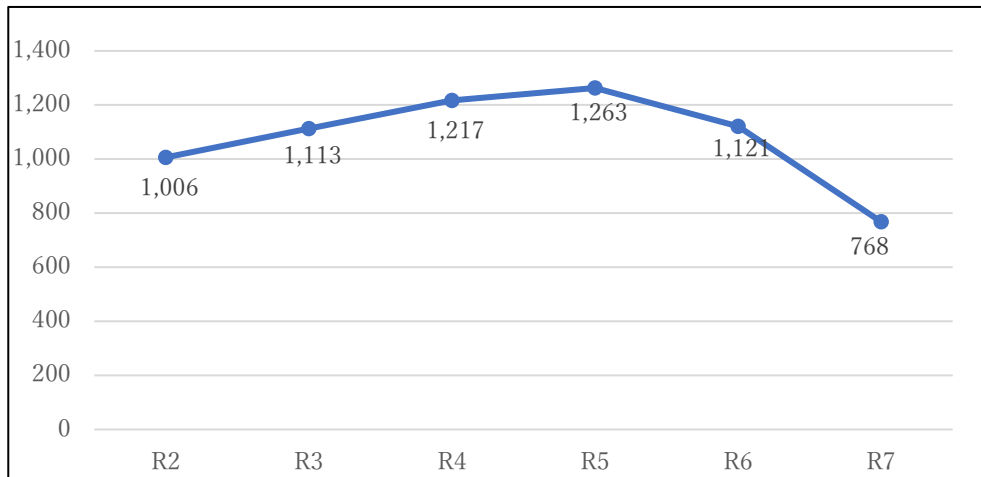


- ② 新規登録者数:(年度目標) 1,280 人
対前年比: 68.5%

表 12 新規登録者数

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
半期合計	1,006	1,113	1,217	1,263	1,121	768

グラフ 2 新規登録者数

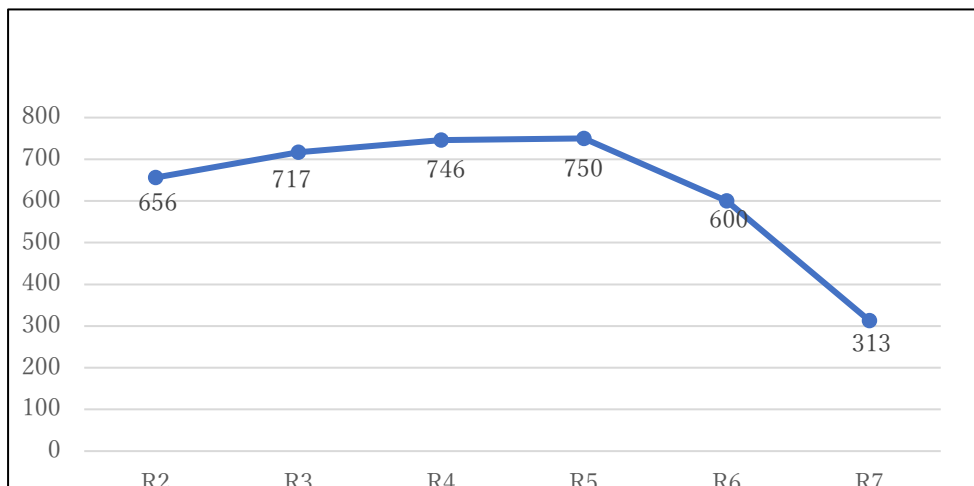


- ③ 就職者数
対前年比: 52.2%

表 13 就職者数

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
年度合計	656	717	746	750	600	313

グラフ 3 就職者数



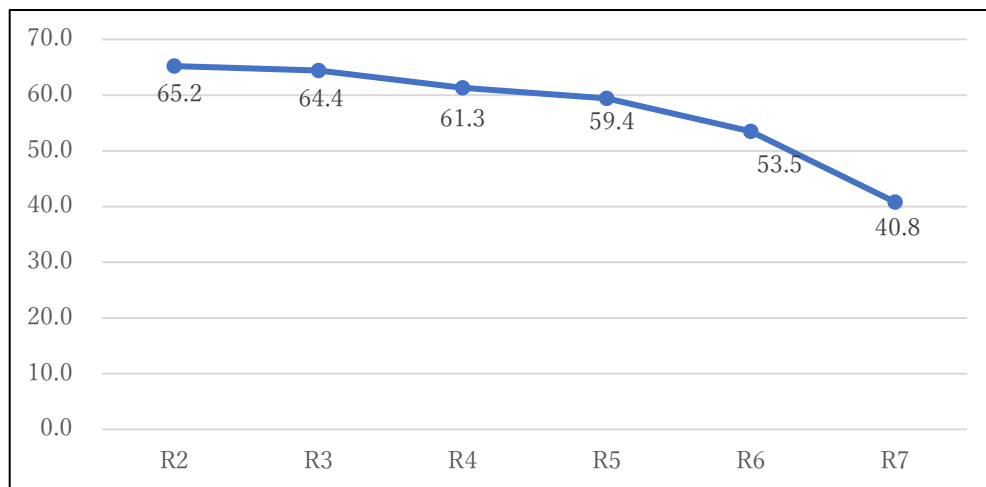
④ 就職率

<計算式> 就職者数/新規登録者数×100

表14 就職率(%)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
年度合計	65.2	64.4	61.3	59.4	53.5	40.8

グラフ4 就職率



(2) 利用者情報の分析を行い、支援サービスの成果や課題を把握し、新たなサービスの提案及びサービスの見直しに活用しました。

<利用者の分析>

(ア) 延べ利用者数の分析

施設利用者数: 8,016名 目標数値:9,800名

昨年度と比較して、施設利用者数は減少している状況です。月ごとの特徴は以下のとおりです。

4月は昨年度の1703件に対し452件と対前年比26.5%となっていますが、昨年度の1703件のうち1078件は大学向けガイダンスの参加者数であり、その部分を除くと令和6年4月は608件で、対前年比74.3%となります。高いとは言えませんが、ハローワーク及び他支援機関との連携も例年に増して進んでいます。

5月は昨年度に比べて9名減少しています(対前年同月比98.7%)。運営事業の相談件数は減少していますが、地域連携事業のセミナー開催の実績分及びサポステの面談利用者の増加により、ほぼ横ばい状態

が保たれています。運営事業の模擬面接会利用者は申込が多数ありました。

6月は昨年度に比べて38名減少しています(対前年同月比94.9%)。運営事業の相談件数(対面・オンラインとも)は減少していますが、セミナー開催実績は増加しています。運営事業の模擬面接会利用者は予約枠に比して申込が多数ありました。

7月は昨年度に比べて67名減少しています(対前年同月比91.8%)。運営事業の相談件数(対面・オンラインとも)やセミナーともには減少しています。運営事業の模擬面接会利用者も公務員試験が落ち着いてきたため減少しました。また、大学生インターンシップのES添削及び模擬面接が増えてきてはいますが、三重大学の単位取得にインターンシップが必須でなくなったため、今後需要は低くなると思われます。

8月は昨年度に比べて107名減少しています(対前年同月比82.9%)。運営事業の相談件数(対面・オンラインとも)やセミナーともには減少しています。学生の就職活動方法が多様化していることの影響も考えられます。一方で、氷河期世代及びサポステの利用件数は対面・オンライン共に増加傾向にあります(氷河期18名増、サポステ57名増)。

9月は昨年度と比べて6名増加しています(対前年同月比101.1%)。運営事業の相談件数(対面・オンラインとも)セミナーともには減少していますが、地域連携事業のセミナーが80件の増加、昨年同様氷河期相談が17件、サポステ利用が91件増加したことによると思われます。また、インターネットを使用した就職サイト等を使用しづらい層の利用が増加理由の一つであると思われます。

10月は昨年度に比べて152名減少しています(対前年同月比83.2%)。地域連携事業のセミナーが144件増加しているものの、運営・HWともに減少傾向にあります。ただ昨年同様氷河期相談が7件、サポステ利用が86件増加しています。就職決定までに継続して複数回の面談及び支援メニューの提供を必要とする層が増加の一因と思われます。

11月は昨年度に比べて77名増加しています(対前年同月比110.9%)。その他セミナーが102件、サポステ・みえの利用が76件増加しているものの、運営・氷河期ともに減少傾向にあります。大学3年生の早期専攻対策あわせて卒年次就職未決定者、離転職者への支援対策が必要です。

12月は昨年度に比べて233名減少しています(対前年同月比77.2%)。これは地域連携セミナー等が昨年度に比べて342名減少していることが要因と考えられます。なお、9月以降は前月を上回るようになってきています。

1月は昨年度に比べて335名減少しています(対前年同月比67.0%)。これは運営事業が232名および地域連携セミナー等が昨年度に比べて306名減少していることが要因と考えられます。なお、氷河期世代の利用件数は、毎月前年を上回るようになってきています。

2月は昨年度に比べて91名増加しています(対前年同月比112.9%)。これは地域連携事業セミナーが150名およびサポステが109名昨年度に比べて増加していることが要因と考えられます。なお、氷河期世代の利用件数は、毎月前年を上回るようになってきています。

3月は昨年度に比べて507名減少しています(対前年同月比53.5%)。

(イ) 新規登録者の分析

新規登録者数:768名 目標数値:1,280名

昨年度と比較して、新規登録者数は減少している状況です。

昨年度から、オンライン登録システム「RESERVA」を導入し、利用者の利便性向上に努めています。

4月は延べ利用者数同様、昨年度は大学向けガイダンスの効果が大きかったこともあり、対前年比は40.7%となりました。オンラインシステムの利用も定着し、スムーズな運営ができています。

5月は昨年度より59名減少しています。運営事業、氷河期事業ともにリピーターが多く、再来所が多いた

めと考えられます。

6月は昨年度と同数です。大学生の登録数が増加しています。また、昨年度同様に男性より女性の登録者数が多くなっています。

7月は昨年度より24名減少しています。大学生の登録数が減少していますが、既卒者の登録が増加傾向にあります。

8月は昨年度より19名減少しています。大学生の就職活動が落ち着いてきたことも要因の一つと考えられます。

9月は昨年度より12名減少しています。

10月は昨年度より49名減少しています。昨年同様、既卒未就職者及び離職者の相談に力を入れていくとともに、大学キャリアセンター等、他支援機関との連携をさらに深めていきます。

11月は昨年度より13名減少しています。昨年同様、既卒未就職者及び離職者の相談に力を入れていくとともに、大学キャリアセンター等、他支援機関との連携をさらに深めていきます。また、大学キャリアセンターやハローワークを利用せず、就職エージェントを利用する学生への対応策も考える必要があります。

12月は昨年度より18名減少しています。しかし、10月以降は前月を上回るようになってきており、今月は前月と比べて県内学生が18名増加しています。

1月は昨年度より3名減少しています。内訳は、男性は49名→35名に減少していますが、女性は37名→52名に増加しており、既卒者も19名→35名に増加しています。

2月は昨年度より16名減少しています。内訳は、男性・女性とも減少していますが、既卒者は23名→36名に増加しています。

3月は昨年度より41名減少しています。内訳は、男性・女性とも減少していますが、既卒者は増加傾向にあります。これは、氷河期世代ならびにサポステ利用者の増加によるものです。

(ウ) 新規登録者の就職率の分析

目標数値:新規登録者のうち就職した者の県内就職率:65.8%

新規利用登録者(768名)のうち就職決定者は313名(正規雇用273名)です。そのうち県内就職者数は218名であり、県内就職率は69.6%でした。

オ 職員の資質向上

(ア) キャリアコーディネーター・首都圏就職相談アドバイザー・就職氷河期世代支援専門員に対する研修受講機会(外部研修及びOJT研修)の提供

開催日	テーマ	参加者数
11月20日	現況と課題の共有(OJT研修)	7名
11月28日	事例検討(OJT研修)	3名
1月29日	事例検討(OJT研修)	7名

(イ) 「若者就労支援者ミーティング」の開催

若者就業サポートステーション・みえを含む「おしごと広場みえ」関係機関と連携した研修会を開催し、職員の資質向上を図りました。

開催日	テーマ	講師
8月29日	精神保健福祉業務と就労支援	三重県立子ども心身発達医療センター 主幹 濱 幸伸 氏

10月20日	三重県における雇用対策について	三重県雇用経済部雇用対策課 若者・女性雇用班 班長 山川 真一 氏
12月22日	労働保険のしくみについて	一般社団法人全国労働保険事務組合連合会三重 支部 支部事務局長 米澤 尚之 氏

カ 広報

(ア) 広報物の作成と配布

- ① 「おしごと広場みえ」リーフレット
7月に2,000部を作成し、適宜、関係機関に配布しました。
- ② 「おしごと広場みえ」各種チラシ
9月に7種類のチラシを各500部印刷し、適宜、関係機関に配布しました。
10月に1種類のチラシを500部印刷し、適宜、関係機関に配布しました。

(イ) インターネット等による広報

- ① 「おしごと広場みえ」ホームページの改修・更新
ホームページの更新 :113回
- ② SNSの更新
Xによる広報 投稿:178件、フォロワー:433人
Facebookによる広報 投稿:171件 フォロワー:192人
Instagramによる広報 投稿:72件 フォロワー:390人
- ③ メルマガの発信
求職者、企業等向けのメルマガ発信:28件 (別紙15参照)

(ウ) 就職支援事業等に関する広報

本事業の広報をするとともに他団体主催の就職支援事業等のチラシ等を配架し広報に努めました。

(エ) その他

業務委託仕様書どおり適切に履行しました。

(オ) 広報効果の検証

業務委託仕様書どおり適切に履行しました。

キ 「みえの企業まるわかりNAVI」のホームページ維持管理

掲載内容の変更を随時受け付け、その都度編集対応をしてきました。

新規登録企業 6社(「お仕事広場みえ」受付分)
更新企業 2社(「お仕事広場みえ」受付分)

ク その他、「おしごと広場みえ」の管理運営に必要な業務

(ア) 受付業務

総合受付、来所が初めての方への概要説明、オンライン登録の確認・集計及びリストの整理・作成とデータのバックアップを行いました。

また、「おしごと広場みえ」の受付管理項目の維持・改善、報告:延べ利用者数、新規登録者数、就職者数、就職率を集計し、報告する体制をとりました。(月報データの集計含む)

(イ) 統括マネジメント業務

毎月の利用状況等を踏まえ、関係機関へのフィードバックを行いました。

また、「おしごと広場みえ」内の関係機関(みえ新卒応援ハローワーク、若年者地域連携事業受託者及び本事業受託者)及び若者就業サポートステーション・みえの代表者で構成する「現場代表者会議」を開

催し、連絡調整及び情報共有等を図りました。

「現場代表者会議」の開催 原則毎月第1火曜日

【開催日】

4月8日、5月7日、6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、
12月2日、1月6日、2月3日、3月3日

(ウ) その他の事業

① 出張相談の開催

【県内大学出張相談】

各月、三重大、皇學館大、鈴鹿大、三重短大

なお、8月、9月、2月については一部の大学では休業のため未実施

② おしごと広場みえサポーター企業データ管理

新規登録企業 46社 登録企業 735社

6 実施体制(職員の配置)

「別紙16」のとおり、人員を配置し業務を実施しました。

7 事業目標、事業計画及び報告

(1) 事業目標

表15 事業目標

事業目標	年間目標	結果	目標達成率(%)	前年度結果
延べ利用者数(人)	9,800	8,016	81.8	10,541
新規登録者数(人)	1,280	768	60.0	1,121
新規登録者のうち就職した者の 県内就職率(%)	65.8%	69.6	105.8	65.2
キャリアコンサルティング実施件数	900件以上	717	79.7	1,764
利用者アンケート満足度	98.0%以上	100.0	102.0	93.4
首都圏 就職相談等件数	延べ200件以上	158	79.0	178
首都圏 就職相談等件数(新規件数)	150件以上	124	82.7	128
氷河期 就業体験受入企業	15社以上	22	147.0	37
氷河期 県内企業向けセミナー	30人以上	39	130.0	31
氷河期 利用者満足度	98.0%以上	95.1	97.0	100.0
氷河期 合説参加人数	50名以上	75	150.0	41
氷河期 就職相談件数	700件以上	679	97.0	581

(2) 事業計画

計画に沿って各事業を実施しました。

(3) 事業の実施状況等の報告

月々の事業の実施状況を管理データとともに月次報告を作成し報告しました。

8 連携する機関、事業

業務委託仕様書(1)から(5)について適切に履行しました。

三重労働局受託事業

地域若者サポートステーション事業 令和7年度事業報告

【事業目標/実績】

項目	目標	実績	
①就職率(全体)	67.9%	52.1%	107/205
うち職場体験プログラム参加者就職率	50.0%	86%	39/45
②就職等率(40代無業者)	35.0%	15%	2/13
③定着率	76.9%	89.5%	
④利用者満足度	90.0%	83.3%	
⑤新規登録件数	213件	205件	
⑥就職等件数	145件	107件	
⑦中退者情報共有件数	5件	0件	
⑧アウトリーチ支援件数	10件	15件	
⑨アウトリーチ支援によるサポステへの誘導件数	5件	0件	
⑩相談件数	2500件	2821件	
⑪職場体験件数	60件	45件	

1 相談支援事業

【1】相談支援窓口の設置

(1)拠点相談窓口

津市羽所町 700 アスト津ビル 3階 月～金、第2・第4土曜 9:00～18:00、(祝日・年末年始は除く)

①拠点相談

若者就業サポートステーション・みえ

・相談件数:1716件

(2)出張相談窓口(相談件数)

①出張相

・亀山市(11件)

亀山市羽若町 7-10 青少年総合支援センター(毎月第1金曜日 13:00～17:00)

・鈴鹿市(79件)

鈴鹿市神戸 1丁目 18-18 鈴鹿市役所 7F(毎月第2・4水曜日 13:00～17:00)

・松阪市(91件)

松阪市本町 松阪市産業振興センター(毎月第2・4金曜日 13:00～17:00)

・臨時出張相談(30件)

・ハローワーク鈴鹿(21件) HW 連携セミナー:3人/2回

- ・ハローワーク津(63件) HW 連携セミナー:46人/6回
- ・ハローワーク松阪(64件) HW 連携セミナー:42人/7回
- ・電話相談(301件)
- ・メール相談(0件)

(3)相談支援事業

①基盤的支援メニュー

- ・職場体験説明会:23人/19回
- ・自分未来予想図:3人/2回
- ・GATB(紙筆):28人/8回
- ・GATB(器具):25人/8回
- ・GATB(HW)

②実践的支援メニュー

- ・アルバイト活動入門セミナー①～④:22人/10回
- ・労基法:3人/1回
- ・マネー講座:7人/2回
- ・アサーション&メンタルヘルス:9人/3回
- ・パソコンクラブ:74人/18回
- ・SST・コミュニケーション:15人/3回

③職場体験プログラム:45名

- ・体験先に就職:27名
- ・体験先以外に就職:3名
- ・未就職:5名
- ・中止:1名
- ・職場体験先 開拓件数

業種	件数
医療・福祉(介護)	3件
運輸業	0件
卸売・小売業	7件
宿泊・飲食業	3件
製造業	17件
農林水産業	0件
前期では分類できない事業	3件
計	33件

④地域の実情に応じて実施するメニュー

三重県より受託:若年無業者等ジョブエスコート事業

- ・職場ふれあい事業(職場見学):46人/12回
- ・職場ふれあい事業(就労体験):8名
- ・体験先に就職:5名
- ・体験先以外に就職:0名
- ・未就職:3名
- ・社会体験(ボランティア):83人/24回
- ・クロネコヤマトラベル貼り:46人/12回

- ・介護労働安定センター封入作業:9人/3回
- ・保護犬・猫 里親会:3人/2回
- ・社協作業 15人/5回
- ・学生協作業:7人/2回
- ・ジョブトレーニング(就労前スキルアップ訓練)
- ・手作り工房:5人/1回
- ・若者の集い:33人/10回
- ・美文字:24人/10回
- ・ボードゲーム:17人/3回
- ・長期無業者理解促進
- ・親の集い:50人/11回

(4) 高校連携に関するもの

- ① 中退者情報把握について:0件
 - ・対象地域全高校リーフレット配布(校部配布)
 - ・県教育委員会との連携(随時)
- ② 進路未決定卒業者への支援:9件(就職決定者 5人)

(5) 地域連携支援コーディネーター

- ① これまで相談員が自身で行っていた他サービス施設の見学や利用手続きなどを地域連携支援コーディネーターが担当することで、相談員が利用者の就労支援に集中して取り組むことができるようになった。
- ② 地域連携支援コーディネーターの専門知識を活かしたアドバイスによって、利用者に対して新たな支援の方向性を見出すことができた。
相談件数:56件
就労決定:3件

(6) その他

- ・三重県労働福祉協会が津市より受託している「津市生活困窮者及び被保護者就労準備支援事業」と連携し、生活困窮者の方にサポステのボランティア参加を案内し、その後の就労に向けての準備支援を行うなど、支援の協力体制を構築している。
- ・「松阪市生活相談支援」と連携し、就労以外にも課題を抱えた利用者の包括的な支援にあたった。
- ・三重県教育委員会より「令和7年度 成長・実感・達成！ 多様な生徒の学び・進路実現事業」を受託(中勢地域及び松阪・東紀州地域)

(7) ネットワーク構築について

- ①～⑧につき連携を密にすると共に、更なる拡大に努めた。
- ① 就労支援機関(ハローワーク以外)
 - ・いせ若者就業サポートステーション
 - ・いが若者サポートステーション
 - ・北勢地域若者サポートステーション
- ② 地方公共団体
 - ・三重県雇用経済部雇用対策課若者・女性雇用班
 - ・鈴鹿市産業振興部産業政策課
 - ・松阪市産業経済部商工政策課

③福祉機関

- ・三重県こころの健康センター・各市町の福祉事務所
- ・三重県健康福祉部少子対策課
- ・三重県社会福祉協議会

④障害支援機関

- ・三重県障害者職業センタ
- ・障害者総合相談支援センター(あい・ふらっと・みらーち(Jマーベル)等)
- ・NPO 法人稲初クラブ

⑤医療・保健機関

- ・三重県こころの医療センター
- ・三重県子ども心身発達医療センター
- ・松阪厚生病院

⑥教育機関

- ・三重県教育委員会事務局
- ・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構ポリテクセンター伊勢
- ・津高等技術学校

⑦その他協力団体

- ・公益財団法人介護労働安定センター
- ・三重県地方自治研究センター

⑧連絡会議などに開催もしくは参加した

- ・みえ若者就労支援ネットワーク:1回(3/5)
- ・サポステ部会:4回(5/30、9/12、12/12、3/5)
- ・ひきこもり支援者ネットワーク会議:2回/年参加
(三重県こころの健康センター主催)
- ・発達障害支援ネットワーク:2回/年参加
(三重県発達障害支援センター主催)
- ・子ども若者支援ネットワーク:2回/年参加
(三重県健康福祉部主催)
- ・こころ津むぎネット:2回/年
(津保健福祉事務所主催)

(8)ハローワークとの連携について

鈴鹿、津(新卒応援ハローワーク含む)、松阪については、月1または2回の出張相談を実施した

(9)広報について

①カード

ハローワーク内で配布するものを随時作成した。

②リーフレットのポスティング

③ホームページ

- ・情報は常に最新のものを掲示した。
- ・言葉の表現は簡潔で明確に、セミナー等の写真を掲載した。
- ・実施したセミナーやイベント情報も随時掲載した。

④広報

イオンタウン津南にPR活動

- ・ポケットティッシュ配布
- ・キャリアインサイトによる相談 15件
- ・FM ラジオでの周知

(10)その他

①就職に向けて実施している支援内容

- ・就職支援セミナーやボランティア活動を活用して、利用者の状況把握に努め、個々に寄り添った支援計画策定を行った。
- ・自己理解セミナー受講等で、利用者が自己理解を深められるよう支援し、就職先選定等に役立てた。

②新規登録者数増加のための取り組み・工夫

- ・津市内の全図書館及び公民館にリーフレットを配布した。
- ・ハローワーク松阪において、職員向けサポステ説明会を開催し、ハローワークからの利用者誘導の増加を図った。

③就職件数増加のための取り組みと工夫

- ・利用者と相談し就職時期の目標を定め、利用者と共に計画的に就職活動計画の実行に取り組んだ。
- ・利用者が希望する職種や勤務条件を満たす求人を利用者と共に探し、職場体験を行うなど、オーダーメイドの職場体験の実施に努めた。
- ・ハローワーク松阪と連携し、松阪市において就労体験説明会を定期開催し、就職決定者増加に向けて取り組んだ。
- ・若者の就職に理解と協力の得られる事業所の開拓に努めた。
- ・若者の就職への理解を深めるため、事業所へのコンサルテーションをおこなった

以上

三重県 雇用経済部受託事業

ジョブエスコート事業 令和7年度事業報告

R7 若年無業者ジョブエスコート事業 報告書(月例版)

※複数月にまたがる場合は、当初月に計上

1 就労前スキルアップ訓練事業 ※延べ50人以上(就職氷河期世代を中心とする中高年世代は15人以上) (内数)														
就労前スキルアップ訓練事業(参加者実数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	8
若者就業サポートステーション・みえ	0	0	9	1	5	7	5	5	11	5	7	7	62	
(内数)														
就労前スキルアップ訓練事業(参加者延人数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	8
若者就業サポートステーション・みえ	0	0	10	1	7	11	5	7	17	5	10	8	81	
(内数)														
就労前スキルアップ訓練事業(実施回数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
若者就業サポートステーション・みえ	0	0	2	1	3	3	2	3	4	2	3	2	25	
2 就労体験及び社会体験事業 ※1人あたり5日程度の就労体験を延べ10人以上(就職氷河期世代を中心とする中高年世代は延べ3人以上)実施 (内数)														
就労体験事業(参加者実数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1
若者就業サポートステーション・みえ	0	0	0	0	1	0	4	1	1	0	0	1	8	
(内数)														
就労体験事業(実施延べ人数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	4
若者就業サポートステーション・みえ	0	0	0	0	3	0	16	4	4	0	0	3	30	
(内数)														
就労体験事業(実施先の事業所数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
若者就業サポートステーション・みえ	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	1	6	
※1人あたり1日程度の社会体験を延べ35人以上(就職氷河期世代を中心とする中高年世代は延べ5人以上)実施 (内数)														
社会体験事業(参加者実数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	20
若者就業サポートステーション・みえ	3	12	7	3	3	8	5	5	7	3	7	5	68	
(内数)														
社会体験事業(実施延べ人数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	26
若者就業サポートステーション・みえ	3	19	8	3	4	10	5	5	11	3	7	5	83	
(内数)														
社会体験事業(実施先の体験場所数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
若者就業サポートステーション・みえ	1	2	2	1	2	2	2	1	2	1	1	1	18	
3 長期無業理解促進事業 ※年2回 参加者:延べ25人以上(就職氷河期世代を中心とする中高年世代の家族等は8人以上) (内数)														
保護者等向けセミナー他(参加者実数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	0
若者就業サポートステーション・みえ	0	4	3	4	5	5	3	4	3	4	12	3	50	
(内数)														
4 就職者数 (内数)														
就職者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	10
就職者数	11	4	5	1	8	5	7	8	6	12	8	32	107	10
就職等件数	12	4	5	1	9	5	7	8	8	12	8	32	111	

三重県 教育委員会事務局受託事業

成長・実感・達成！多様な生徒の学び・進路実現事業(中勢地域)令和7年度事業報告

【中勢地域】

実施時期	実施状況及び具体的内容等
	<p><進路相談></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みえ夢学園高校 3年生 計3人 ・津東高等学校 3年生 計1人 ・稲生高等学校 3年生 計1人 ・飯野高等学校 3年生 計1人
7月25日 8月6日～ 8月8日	<p><職場実習></p> <p>①みえ夢学園高校 3年生 1人 「スーパーサンシ亀山エコー店」 ・見学（本人・職場体験コーディネーター） ・体験2日間 8月6日～8月8日 9:30～14:00</p>
7月31日	<p>②みえ夢学園高校 「エコープ」3年生 1人 ・見学（本人・職場体験コーディネーター）</p>
1月27日 2月19日～ 2月25日	<p>③津東高校 3年生 1人 「おぼろタオル」 ・見学（本人・職場体験コーディネーター） ・体験4日間</p>
3月11日	<p>④みえ夢学園高校 3年生 1人 「一志精工（有）」 ・見学（本人・職場体験コーディネーター）</p>
	<p>「進路相談」や「職場実習」を通じて、進路が決まった生徒</p>
6月18日 3月23日 4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・就職内定した生徒 3人 みえ夢学園高校 令和6年度登録者 1名 津東高校 3年生 1名 稲生高校 3年生 1名
	<p><ソーシャルスキルトレーニング></p> <p>みえ夢学園高校 通級受講者：3年生 5人 ←</p>
9月22日	①ペーパータワー
9月29日	②働く場面でのスキル：事務作業
10月20日	③私MAP
10月27日	④雇用形態について

11月17日	⑤働く場面でのスキル：電話のかけ方 <中止>
12月8日	⑥働く場面でのスキル：話し方講座
1月19日	⑦SST
1月26日	⑧退職と転職活動について
7月15日	・ガイダンス：自己理解（私MAP作成） 1年生 午前・午後・夜間（計155人）
10月22日	・インタビュー：働く人にインタビュー（校内） 2年生 午前・午後・夜間（計6人）
12月12日	・ガイダンス：卒業生に向けて講義 卒業年次 午前・午後・夜間（計76人）
	石薬師高校
	・ガイダンス：インターンシップ前SST 3年生（計102人）
	「ソーシャルスキルトレーニング」受講者のその後の進路
	・就職内定した生徒 2人 みえ夢学園高校 1人（令和6年度受講） みえ夢学園高校 1人（令和7年度受講）
	・サポステ支援（登録）につながった生徒 2人
	<高校生就労支援ネットワーク会議>
	会場：みえ夢学園高校
	参加者：36人 (就労支援機関)
8月19日	・鈴鹿公共安職業定所 ・津公共職業安定所 ・鈴鹿亀山障がい者職業・生活支援センターハロ ・亀山市障がい者総合相談支援センターあい ・津地域障がい者就業・生活支援センター ふらっと ・亀山市健康福祉部地域福祉課福祉総務グループ ・亀山市社会福祉協議会 ・株式会社ヒラマツ ・若者就業サポートステーション・みえ (学校関係者) ・みえ夢学園高校 ・白子高校 ・石薬師高校 ・稲生高校 ・飯野高校 ・亀山高校 ・久居農林高校 ・白山高校 ・県教育委員会事務局高校教育課キャリア教育班
	その後のつながり ・飯野高校の進路相談に繋がった。

【松阪・東紀州地域】

実施時期	実施状況及び具体的内容等
2月25日 3月13日 ～16日	<p><進路相談></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飯南高等学校 3年生2人 2年生1名 計3人 保護者3人 ・ 松阪高等学校 3年生 計2人 <p><職場実習></p> <p>① 松阪高等学校 3年生 1人</p> <p>「ぎゅーとら 持川店」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見学（本人・職場体験コーディネーター） ・ 体験3日間
10月16日 11月20日 12月17日 1月22日 2月19日 3月13日	<p><ソーシャルスキルトレーニング></p> <p>飯南高校</p> <p>放課後 SST：2年生5人</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自己理解（私 Map 作成） ②事務のお仕事をやってみよう ③職業理解（私の仕事はなあに？） ④SST（こんな時どうする？） ⑤面接対策・第一印象 ⑥面接練習
	<p>「ソーシャルスキルトレーニング」受講者のその後の進路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職内定した生徒 3人 飯南高校 3人（令和7年度受講） ・ サポステ支援（登録）につながった生徒 3人 ・ 他の支援機関（HWやナカポツ等）につながった生徒 1人 HW：飯南高校 1人（令和6年度受講）
8月29日	<p><高校生就労支援ネットワーク会議></p> <p>会場：飯南高校</p> <p>参加者：18人 （就労支援機関）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者職業・生活支援センター みらーち ・ 障害者職業・生活支援センター 結 ・ 紀南地域障がい者職業・生活支援センター colors ・ 若者就業サポートステーション・みえ （学校関係者）

	<ul style="list-style-type: none">・飯南高校・松阪工業高校・松阪商業高校・昴学園高校・尾鷲高校・紀南高校・県教育委員会事務局高校教育課キャリア教育班
--	---

津市 受託事業

生活困窮者及び被保護者就労準備支援事業 令和7年度事業実績報告

1. 就労準備支援事業 平成27年度、生活困窮者自立支援法の施行に伴って創設された新たな支援制度。従来の雇用施策の枠組みでの支援になじまない層に対する支援を強化・充実させるための事業。
- (1) 支援事業
- 人員体制
- | | |
|------------------------|--------------|
| 就労準備支援担当者 | 1名 |
| 就労準備支援担当者（キャリアコンサルタント） | 1名（サポステ事業兼務） |
| 就労準備支援担当者補助 | 3名（事務局兼務） |
- 支援対象
- 津市が就労準備支援事業による支援が必要と認める生活困窮者
就労意欲や生活能力・稼働能力が低いなど、就労に向けた課題を多く抱える被保護者で、当事業への参加を希望する者
具体的には、
- ・決まった時間に起床、就寝できない等、生活習慣の形成・改善が必要
 - ・他者との関わりに不安を抱えており、コミュニケーション能力などの社会参加能力の形成・改善が必要
 - ・自尊感情や自己有用感を喪失している
 - ・就労の意欲が希薄、又は就労に関する能力が低い
- など、ハローワークにおける職業紹介、職業訓練等の従来の雇用施策によっては直ちに就労が困難な者
- 支援内容
- 就労準備支援プログラムの作成・見直し
- ・日常生活自立に関する支援
 - ・社会生活自立に関する支援
 - ・就労自立に関する支援

(2) 成 果

津市が、当該事業による支援を必要と認めた生活困窮者及び被保護者

13名（前年同期 14名）

生活困窮者： 2名 50歳代2名

被保護者： 11名 40歳代6名、50歳代3名、60歳代2名

そのうち支援終了 4名（前年同期 5名）

被保護者： 4名 40歳代1名（正規社員として一般就労）

40歳代1名（アルバイト収入で生活保護廃止）

50歳代1名（精神障害2級、B型作業所の利用開始）

50歳代1名（病状悪化で稼働能力なし）

そのうち新規ケース支援開始 4名（前年同期 5名）

被保護者： 4名 40歳代3名、60歳代1名

実 績（令和7年4月～令和8年3月）

就労の実現： 4名 50歳代4名（前年同期 5名）

定着支援： 7名 40歳代2名、50歳代4名、60歳代1名（ 〃 8名）

就労体験： 4回 50歳代2名（各2回）（ 〃 4回）

相談支援回数（下記の訪問・支援等の回数を含む） 843回（前年同期 649回）

・訪問回数 144回（ 〃 87回）

・就労継続支援事業所・市社協他関係機関との協働 418回（ 〃 300回）

・事業所見学同行 23回（ 〃 7回）

・医療機関への同行等支援 12回（ 〃 0回）

・ハローワークへの同行等支援 2回（ 〃 3回）

個別セミナー開催

内 容	講 師	回 数	(前年同期)
職業適性検査 (VRT、GATB)	就労準備支援員	4回	3回
履歴書添削・作成支援	就労準備支援員	14回	11回
面接指導・模擬面接	就労準備支援員	12回	16回
ビジネスマナー教育	就労準備支援員	2回	6回
パソコン教育	就労準備支援員	2回	8回
jobtag (職業検索・自己分析)	就労準備支援員	10回	28回

(3) 3月末現在の支援対象人数： 9名（前年同期 9名）

生活困窮者： 2名 50歳代2名

被保護者： 7名 40歳代4名、50歳代1名、60歳代2名

(4) 今後の課題

1. 健常者と障がい者の狭間の事例（いわゆるグレーゾーン）の人たちの社会参加が困難で、そのような人々を受け入れる中間的就労の場も少ない。
2. 複合的要因（知的・発達障がい、精神疾患、金銭、引き籠り等）によって社会参加を阻害されている人々への支援については、関係機関と連携しての対応が必要。
3. 長期の無業状態の人々をはじめ、就労を阻害する個別要因を持つ人々に対し、個々の興味や課題に合わせたハンドメイドの支援プログラムや支援メニューの開発が必要。

(5) 事業目標

1. グレーゾーンの人たちの社会参加の場づくり

グレーゾーンの人たち（今後の課題1.）の社会参加の場として、厚労省が推奨している「生活困窮者自立支援法に基づく認定訓練事業」制度に基づいた中間的就労の受け入れ事業所の開拓を進めており、当期は以下のような利用状況となっている。

- ① 就労継続支援B型事業所「工房T&T」（受け入れ稼働中）
- ② 就労継続支援B型事業所「稲発クラブ」（受け入れ稼働中）
- ③ 就労継続支援B型事業所「ハレノヒ365」（受け入れ稼働中）
- ④ 就労継続支援B型事業所「ピュア」（受け入れ稼働中）
- ⑤ 就労継続支援B型事業所「風早の郷」（受け入れ稼働中）
- ⑥ 構内内職の一般事業所「三愛工業」（受け入れ稼働中）
- ⑦ 就労継続支援B型事業所「さくらさくら商会」（受け入れ準備中）
- ⑧ 就労継続支援B型事業所「リハスワーク」（新規開拓、受け入れ準備中）
- ⑨ 就労継続支援B型事業所「シエル」（新規開拓、受け入れ準備中）
- ⑩ 就労継続支援B型事業所「Don'tomワークス」（新規開拓、受け入れ準備中）

今後、認定就労訓練事業所に限らず、一般企業・事業所、内職、地域・ボランティア団体などの協力企業等の開拓を進め、被支援者の社会参加を可能とする中間的就労の場づくりを行っていききたい。

当期では、能力や引き籠もり等で一般就労が難しいと思われる場合に、精神疾患等により障害福祉サービス受給資格を取得して就労継続支援事業所での就労を実現したケースが3件あった。

2. 関係機関との連携強化

ハローワークをはじめとした就労支援機関や福祉関係機関など被支援者の個別の課題に関係する機関との連携強化を図り、複合的要因に対して多面的アプローチを行うようにしていきたいと考え、取り組みを行っているところである。今後は、更なる多様な関連機関との連携強化を図っていきたい。

当期では、津市地域障がい者相談支援センター、計画相談支援専門員、障害年金・福祉専門の社会保険労務士、精神科病院、津市障がい福祉課などとの連携により活動を行っている。

3. 多様な支援メニューの開発

被支援者個々の課題や状態像に合わせて支援プログラムや支援メニューを作成して実施している。今後も支援メニューの充実を図るとともに、関係機関の支援メニューの利用も取り入れていきたい。

当期では、前期に引き続き、キャリアコンサルティングの職業生活設計の視点を取り入れ、被支援者が主体的に職業生活設計を考えられるように、自己理解や職業理解を促す支援を、jobtag（職業情報提供サイト）の職業情報検索や自己分析ツールの活用などにより実施している。

令和7年度 会館維持管理・法定点検状況表

点検項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数
冷温水発生機 点検	点検	○					2日		18日			26日		年4回
	報告書	改修工事					9/2		11/20			2/27		
冷温水発生機 チューブ清掃	点検													年0回
	報告書	改修工事		*改修工事後のため今年度点検不要										
冷温水発生機 煤煙測定	点検						17日						6日	年2回
	報告書	改修工事					10/9						4/3	
空調用自動 制御機器点検	点検		13日						18日					年2回
	報告書		6/4						11/20					
非常用自家発電機点検、 負荷運転試験	点検									20日				年1回
	報告書									1/8				
空調関係 水質検査	点検						17日						6日	年2回
	報告書	改修工事					10/2						3/31	
環境測定	点検		26日		28日		22日		25日		26日		23日	年6回
	報告書		6/4		8/1		9/29		12/2		1/30		3/31	
簡易専用水道水 水質検査	点検			13日							26日			年2回
	報告書			6/26										
貯水槽清掃	点検											15日		年1回
	報告書													
簡易専用水道水 施設検査	点検							20日						年1回
	報告書													
電気工作物 年次点検	点検												14日	年1回
	報告書	29日												
電気工作物 定期点検	点検				10日		11日		14日		14日		14日	年6回
	報告書	29日	22日											
浄化槽保守点検	点検	4 11 18 25	2 9 16 30	6 13 21 27	4 11 18 26	1 8 15 22	5 12 19 26	3 10 17 24	7 14 21 28	5 12 19 26	9 23 16 30	6 20 13 27	6 27 13 31	月4回
	報告書								21日					
浄化槽法定検査	点検									11日				年1回
	報告書													
浄化槽水質検査	点検			2日						1日				年2回
	報告書			6/19						12/18				
浄化槽汚泥抜取	実施											9日		年1回
	報告書													
エレベーター点検	点検	8日	21日	12日	18日	6日	19日	16日	11日	4日	8日	26日	19日	年12回
	報告書									8・9日				
騒音測定	点検										22日			年1回
	報告書													
自動ドア点検	点検				12日									年4回
	報告書	26日							11日		17日			
防火設備法定点検 防火扉・防火シャッター	点検						13日						21日	年2回
	報告書						11/10						3/31	
消防設備点検	点検					31日						8日		年2回
	報告書					9/19						3/12		
防火対象物点検	点検								17日					年1回
	報告書								11/19					
非常灯点検	点検									21日				年1回
	報告書													
害虫防除	実施					31日							2・8日	年2回
	報告書					9/17							3/30	
ガラス清掃	実施			29日					18日				15日	年3回
	報告書													
月例点検報告書	点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	年12回
	報告書	5/12	6/12	7/10	8/14	9/12	10/7	11/11	12/9	1/9	2/6	3/9	4/7	

自動販売機月別「販売数」一覧表

【令和7年度】

(単位:本)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
地階	片田商事 (BF)	144	152	197	170	172	177	148	72	71	52	46	38	1,439	1,116
	明治牛乳 (BF)	292	269	234	258	176	265	234	215	162	175	155	212	2,647	2,217
1階	明治牛乳 (1F)	53	42	55	51	32	59	9/24撤去						292	128
	FVイーストジャパン(1F食品)	35	44	36	64	29	29	9/12撤去						237	▲161
	FVイーストジャパン(1F缶)	67	124	89	292	161	98	186	128	79	99	145	200	1,668	1,214
6階	明治牛乳 (6F)	79	64	59	116	56	85	9/24撤去						459	291
	ヤクルト東海(6F)	90	110	163	95	76	113	108	100	56	12/9撤去			911	587
	FVイーストジャパン(6F缶)	284	188	332	456	268	388	352	143	264	254	190	254	3,373	2,954
	FVイーストジャパン(6Fカップ)	131	208	127	341	255	393	293	142	304	211	182	275	2,862	2,570
合計		1,175	1,201	1,292	1,843	1,225	1,607	1,321	800	936	791	718	979	13,888	10,916

【令和6年度】

(単位:本)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
地階	片田商事 (BF)	157	166	157	174	193	178	146	149	127	124	121	138	1,830	▲194
	明治牛乳 (BF)	188	242	205	289	219	277	371	166	77	177	193	247	2,651	▲529
1階	明治牛乳 (1F)	56	108	85	113	95	85	160	72	14	56	48	54	946	▲241
	FVイーストジャパン(1F食品)	237	161	236	186	222	264	194	171	108	87	78	97	2,041	▲956
	FVイーストジャパン(1F缶)	301	153	451	220	368	372	450	191	256	29	271	175	3,237	▲922
6階	明治牛乳 (6F)	70	98	99	190	179	132	210	47	28	48	36	34	1,171	▲397
	ヤクルト東海(6F)	203	121	164	265	155	210	298	101	84	72	60	85	1,818	▲851
	FVイーストジャパン(6F缶)	306	113	629	335	594	650	489	270	273	274	293	262	4,488	189
	FVイーストジャパン(6Fカップ)	165	127	120	146	194	150	13	210	113	193	107	203	1,741	59
合計		1,683	1,289	2,146	1,918	2,219	2,318	2,331	1,377	1,080	1,060	1,207	1,295	19,923	▲3,842

自動販売機月別「手数料」一覧表

【令和7年度】

(単位:円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
地階	片田商事 (BF)	2,965	3,135	4,055	3,505	3,530	3,640	3,040	2,520	2,487	1,950	1,725	1,377	33,929	27,074
	明治牛乳 (BF)	7,884	7,263	6,318	6,966	4,752	7,155	6,318	6,450	4,860	5,250	4,650	6,360	74,226	62,616
1階	明治牛乳 (1F)	742	588	770	714	448	826	9/24撤去						4,088	1,792
	FVイーストジャパン(1F食品)	252	298	246	442	192	200	9/12撤去						1,630	▲1,553
	FVイーストジャパン(1F缶)	2,212	4,000	2,948	9,681	5,461	3,294	6,228	4,183	2,696	3,254	4,680	6,465	55,102	39,459
6階	明治牛乳 (6F)	2,212	1,792	1,652	3,248	1,568	2,380	9/24撤去						12,852	8,148
	ヤクルト東海(6F)	2,865	3,412	5,043	2,779	2,236	3,489	3,352	2,992	1,596	12/9撤去			27,764	18,079
	FVイーストジャパン(6F缶)	9,744	6,355	11,106	14,895	8,741	13,169	11,949	4,723	9,355	8,850	6,272	8,449	113,608	98,708
	FVイーストジャパン(6Fカップ)	4,677	7,638	4,789	11,817	9,062	13,699	10,439	5,046	10,923	7,631	6,720	10,613	103,054	91,165
合計		33,553	34,481	36,927	54,047	35,990	47,852	41,326	25,914	31,917	26,935	24,047	33,264	426,253	345,488

【令和6年度】

(単位:円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
地階	片田商事 (BF)	3,265	3,590	3,390	3,735	4,590	3,910	3,050	3,100	2,645	2,570	2,505	2,855	39,205	▲4,460
	明治牛乳 (BF)	5,076	6,534	5,535	7,803	5,913	7,479	10,017	4,482	5,373	4,779	5,211	6,669	74,871	▲10,989
1階	明治牛乳 (1F)	784	1,512	1,190	1,582	1,330	1,190	2,240	1,008	994	784	672	756	14,042	▲2,576
	FVイーストジャパン(1F食品)	1,905	1,278	1,817	1,498	1,769	1,190	1,524	1,280	760	598	555	690	14,864	▲7,821
	FVイーストジャパン(1F缶)	10,411	5,232	15,863	7,743	12,713	2,093	15,125	6,388	8,507	952	8,993	5,558	99,578	▲45,793
6階	明治牛乳 (6F)	1,960	2,744	2,772	5,320	5,012	3,696	5,880	1,316	1,092	1,344	1,008	952	33,096	▲10,808
	ヤクルト東海(6F)	6,160	3,525	4,717	7,840	4,534	6,306	8,653	2,957	2,607	2,284	1,861	2,547	53,991	▲22,695
	FVイーストジャパン(6F缶)	10,628	4,272	22,203	11,664	20,747	22,394	16,678	9,209	9,403	9,372	9,441	8,654	154,665	1,957
	FVイーストジャパン(6Fカップ)	6,722	5,167	4,846	5,720	7,648	5,979	504	7,167	3,801	6,610	3,615	7,116	64,895	▲1,124
合計		46,911	33,854	62,333	52,905	64,256	54,237	63,671	36,907	35,182	29,293	33,861	35,797	549,207	▲104,309

第4期中期経営計画

〈令和6年度～令和8年度計画〉

コンセプト（基本視点）

Connecting to the next 50 years（次の50年につなぐ）

第3期中期経営計画（令和2年度～令和4年度計画）期間においては、コロナ禍による影響をまともに受ける期間となったことや、特に令和4年度においては、ロシア・ウクライナ情勢の影響によるエネルギー価格の高騰や円安に伴う物価高騰により、当協会の経営にも大きなダメージを与える年度でありました。

また、令和5年度は、三重県労働福祉協会創立50周年（公益財団法人設立10周年）を迎える節目の年度でもありましたが、会議室利用料金・入居団体負担金の改定（引上げ）や経費削減等による収支安定に努めるとともに、先行き不透明な状況を見極めるための年度とし、令和6年度からの新たな中期経営計画の策定に向けた準備期間として位置付け、単年度計画として展開してきました。

こうした状況を踏まえ、基本的には第3期中期経営計画のビジョンである「勤労者のための組織として事業利用促進を通じて役割を発揮する」を継承し、近年の社会経済情勢や労働環境の変化に対峙しながら「次の50年につなぐ」ためのファーストステップの計画とします。

ビジョン（将来像）

勤労者のための組織として事業の利用促進を通じて役割を発揮する

マネージメント・ポリシー（経営方針）

1. 質の高いサービスで勤労者の経済的・文化的地位の向上に寄与する
2. 働きがい・生活安定の実現に向けて求職者に寄り添った支援を行う
3. 安定的な経営基盤を長期維持するため内部管理態勢の強化に努める

第4期中期経営計画の到達目標

会議室稼働率
50%

就労支援者数
1,900名

正味財産残高
3,500万円

1. 年間を通じて会議室の全日稼働率50%以上を目指します。
2. 各就労支援事業を通じて年間1,900名*以上の求職者を支援します。（※実人数）
3. 第3期中期経営計画最終年度の正味財産残高3,500万円を維持します。
（※第3期中期経営計画最終年度（令和4年度）の正味財産残高は33,582,304円です。）

第4期中期経営計画の取り組み課題

I. 施設貸与事業

1. 勤労者福祉会館としての役割発揮
2. 利用者・入居者の満足度向上
3. 各設備・施設の充実

II. 就労・就業事業

1. 就労支援事業の適正な運営
2. おしごと広場みえ運営事業の強化
3. サポートステーション事業の強化

III. 文化事業

1. 利用者の満足度向上
2. 労働団体等との協賛

IV. 会館維持・管理事業

1. 貸与施設の老朽化対応
2. 会館の安定的な維持管理

V. 売店等事業・その他

1. 販機売上増に向けた工夫
2. ボランティア活動の継続

VI. 内部管理態勢

1. 部統制が機能する事業活動
2. 法令遵守・環境に配慮した事業活動
3. 正な会計処理と安定的な収支確保

第4期中期経営計画(令和6年度～8年度計画)取組課題と令和7年度取組結果

I. 施設貸与事業

△：検討、◎：実施、○：継続

○：達成、△：一部達成、×未達成

取組み課題	施策事項	実施時期			令和7年度の取組状況	判定
		R6年度	R7年度	R8年度		
1. 勤労者福祉会館としての役割発揮	① 労働団体、労働者福祉団体等との連携による会議室利用促進を図るとともに、既利用団体や関係団体等に利用促進を働きかけます。	○	○	○	三重労働協会の主催会議等を通じて、会議室の稼働状況や設備・環境改善状況の報告や、チラシ配布による利用促進を展開しました。	○
	② HP・リーフレット等での協会情報の発信や、デジタルサイネージで福祉事業団体等の情報発信を継続します。	○	○	○	HPの「お知らせ」や三重労働協関係紙での情報発信や、デジタルサイネージや当協会イベント等で各福祉事業団体の情報を提供しました。	○
	③ 会議室の貸出は、勤労者・労働団体等が行う福祉・厚生・文化活動推進のために資する研修・教育・会合等であるか適正に管理します。	○	○	○	新規利用団体は組織及び会議室利用目的、また既利用団体はその利用目的が会議の貸出規程を充たしているか検証して管理を行いました。	○
	④ 会議室のより効率的な貸出方法（貸出単位・延長廃止等）への見直しを検討し、将来のWeb予約導入に向けた課題整理を進めます。	△	△	△	Web予約システム導入に向けたコスト削減が必要なことから、貸出方法の見直しに着手したが、見直し内容の検討は継続課題となりました。	×
	⑤ 現在、空室となっている地階事務室（フロア）への入居団体の募集を強化し、会館運営の収支改善に寄与します。	◎	—	—	地階フロア空室への三重県住宅生協の移転に伴い新たに空室となった1階フロアに、三重県と連携し三重県畜産協会の入居に繋げました。	○
2. 利用者・入居者の満足度向上	① 会議室の利用者アンケート等により利用者ニーズを把握し、満足度向上に結び付けます。	△	◎	○	より多くの利用者ニーズを把握するため、利用後の意見を相対で情報収集し改善を図り、次年度の満足度の高い利用に向けた対応を進めました。	○
	② 入居団体の代表者で構成する管理運営委員会が入居団体の意見・要望等を把握し、満足度向上に向け改善を進めます。	○	○	○	管理運営委員会での意見・要望を基本としながら、都度、発生事象に対応した改善を早期に行い満足度向上に向けた活動を継続します。	○
	③ 改正健康増進法に基づく喫煙室であるかを再検証し、「喫煙室の屋外化」を検討・実施します。	△	△	△	「屋外化」は場所、経費面、防火対策面で設置困難が判明した。屋内喫煙室は改正健康増進法の技術的基準を満たしており現状のままとします。	×
	④ 入居団体の意見等を有効的なツールを用いて把握し、満足度向上に繋げます。	△	◎	○	法人向け無人店舗「Maxマート」導入時の意見集約、実施後の感想把握のためWebアンケートを実施しました。	○
【令和7年度 追加計画】	① ランニングコストの軽減を目的に販売実績の拡大に向けた利用促進を進めます。（※売上実績向上がランニングコスト減に繋がらる）	◎	◎	○	導入以降、売上げが好調であり、一定の水準を満たしたためR7年10月より委託料が減額(55千円→33千円)となりました。	○
	② イートインスペースの設置に向けた検討を進めます。	△	○	○	設置に際して設置場所で既入居団体の業務を妨げない、費用面で改修工事が少額、衛生面で清掃業務に支障がない等、検討を継続しています。	△
4. 各設備・施設の充実	① 会議室案内のデジタルサイネージを有効活用し、各種情報提供を継続していきます。	○	○	○	デジタルサイネージを有効活用し、関係事業団体の情報発信や必要に応じて会館からの情報提供を行いました。	○
	② 研修室の設備（音響設備・演台等）を更新します。	◎	◎	◎	音響機器の経年劣化やマイク破損等による不具合があったため、音響設備の刷新と新たにハイブリッドWeb会議システムを導入しました。	○
	③ 特別会議室の机・椅子を更新します。			○		×
	④ 第3会議室の机・椅子を更新します。			○		
	⑤ 1F空室（旧住宅生協の一部）について、貸会議室としての活用を検討・実施します。			◎		

II. 就労・就業事業

取組み課題	施策事項	実施時期		令和7年度の取組状況	判定
		R6年度	R7年度 R8年度		
1. 就労支援事業の適正な運営	① 施設員と事業への影響（事務・収支への負荷）を踏まえ、新たな受託事業の拡大は行わないこととします。	◎	○	計画を踏まえ、新たな受託事業は実施していません。	○
	② 労福協、連合と連携して受託事業の周知を図り、就労・就業支援事業に資する取組を行います。	○	○	三重県労福協の関係会議や機関紙での受託事業に関する情報発信や、三重県や関係団体と連携した取り組みを展開しました。	○
2. おしごと広場みえ運営事業の強化	① 事業進捗を部門職員全体で共有するとともに、改善事項があれば反映し、目標必達に向けた事業を展開します。	○	○	毎月1回全体ミーティングで事業の進捗状況や課題を運営・水河期事業職員、受付職員を含め全員で共有し課題解決に向け協議を行いました。	○
	② 外部研修およびOJT研修など多様な研修を受講し、職員のスキルUPにつなげます。	○	○	11/20、11/28、1/29にOJT研修実施。8/29、10/20、12/22「若者就労支援者ミーティング」を開催し、職員の資質向上に努めました。	○
3. 地域若者サポートステーション・就業支援事業の強化	① 各支援機関が実施する講演会やカウンセラー協会の研修会等に参加し、関係づくりを強化するとともに、職員のスキルUPに繋がります。	○	○	若者自立支援中央センター主催「相談スキルアップ研修」に参加し相談員の資質向上を図った。各支援機関の会議等へ参加し関係構築と支援体制の更なる強化に努めました。	○
	② 市町の広報紙、関係機関へのリーフレット配布、ポスターリングに加え、マスメディアを活用し、サポステ三重の知名度UPを目指します。	○	○	津市内の図書館、公民館、市役所支所等、関係機関へリーフレット配付、FM三重でPR放送の実施、イオンモール津南でイベント開催等で知名度向上と情報発信を行いました。	○
4. その他の就労・就職支援事業の強化	① 「生活困窮者自立支援法に基づく認定訓練事業」制度に基づき、一定の配慮や支援が必要な方の社会参加の場づくりを進めます。	○	○	中間的就労の受け入れ事業所の開拓を行うとともに、就労体験を実施するなど就労に向けた準備としての取り組みを行いました。	○
	② 就労支援事業統括者会議(年2回)を通じて、課題等の情報共有を図るとともに事業間の連携を強化します。	○	○	統括者会議を令和7年5月と11月に開催し、事業目的、進捗状況報告を行い、課題等の情報共有、事業間の連携強化に努めました。	○

III. 文化事業

取組み課題	施策事項	実施時期		令和7年度の取組状況	判定
		R6年度	R7年度 R8年度		
1. 利用者の満足度向上	① これまでの文化事業のアンケートを参考に、集客力の高い文化事業を検討・実施します。	○	○	初心者の方から気軽にご参加いただける人気のフラワーアレンジメント講座を複数回(延べ6回)開催し、延べ100名の参加がありました。	○
	② 関係機関・団体や地域団体と連携し、必要に応じて「共催」「協賛」「後援」も合わせて検討・実施します。	○	○	フラワーアレンジメント講座で、三重県SDGs推進パートナーを取得し地域で講座を開催している「花やの六さん」より講師を迎え開催しました。	○
2. 労働団体等との協賛	① 労働団体等が実施する文化事業・イベントに協賛していきます。	○	○	労福協、連合主催のチャリティゴルフコンパニオン実行委員会に、実行委員として参画しました。	○

IV. 会館維持・管理事業

取組み課題	施策事項	実施時期		令和7年度の取組状況	判定
		R6年度	R7年度 R8年度		
1. 貸与施設の老朽化対応	① 会館の老朽化・経年劣化に伴う設備等の更新・修繕を、長期計画を基本としながら三重県と連携して進めます。	○	○	長期計画に基づく更新・修繕の他、老朽化・経年劣化に伴い発生する不具合・故障についても三重県と連携・調整しながら進めました。	○
	② 耐用年数(15年)、耐用運転時間(30,000H)を超越している「空調設備」の更新を行います。	◎	◎		
2. 会館の安定的な維持管理	① 各種設備の法定点検・定期点検を励行し、不具合の回避や不具合の早期発見・修繕に努めます。	○	○	法定点検・定期点検については、年間計画に沿って全て実施しました。	○
	② コロナ禍が収束に向かいつつあることを見据え、避難訓練・消火訓練など本格的な防災訓練を実施します。	◎	◎	各入居団体の代表職員(複数名)の参加のもと、避難訓練と救命講習(AED講習)を実施しました。	○

V. 売店等事業・その他

取組み課題	施策事項	実施時期			令和7年度の取組状況	判定
		R6年度	R7年度	R8年度		
1. 自動販売機売上増に向けた工夫	① 自動販売機の稼働状況を確認し、また入居団体等の意見を聞きながら、商品ラインナップの変更や自動販売機の入替えを検討します。	○	○	○	無人店舗「Maxマート」のランニングコスト軽減と販売商品競合を踏まえ、稼働率の低い自動販売機が撤去(4台)となりました。	○
	② イートインスペースの設置に向けた検討を進めます。		○	○	(令和7年度以降は、無人店舗「Maxマート」の利用促進の施策とします。)	△
3. ボランティア活動の継続	① ジョイセフを通じて「思いのランドセルギフト」を継続実施します。	○	○	○	これまでの継続課題として年度当初に実施し、令和7年度は28個(前年度39個)の寄贈がありました。	○

VI. 内部管理態勢

取組み課題	施策事項	実施時期			令和7年度の取組状況	判定
		R6年度	R7年度	R8年度		
1. 内部統制が機能する事業活動	① 理事会、評議員会を通じて内部統制機能を発揮します。	○	○	○	理事会8回、評議員会4回(定時及び臨時3回)開催し、内部統制の強化に努めました。	○
	② 就労支援事業統括者会議等を通じて事業間連携を強化し、事業活動を健全かつ効率的に運営します。	○	○	○	就労支援事業統括者会議を2回開催(5月、11月)し、各事業の進捗状況や喫緊の課題等について情報共有し、	○
	③ 内部統制の整備により、資源(時間・人・予算)を有効に活用することで、効率的な事業活動につなげます。	○	○	○	内部統制の再構築を目的に、就労支援事業を中心とした職員のと令和8年4月人事異動を検討・実施しました。	○
2. 法令遵守・環境に配慮した事業活動	① コンプライアンス意識の浸透・徹底を目的に、定期的に職員研修を実施します。必要に応じて外部講師による研修を行います。	○	○	○	コンプライアンス意識の浸透・徹底を目的に、就業規則にハラスメント行為者を厳正に対処する旨を明確に規定し、職員向け研修を行いました。	○
	② コンプライアンスに関する職員向けアンケートを実施し、コンプライアンス違反やハラスメントの無い職場環境への改善を進めます。	◎	○	○	上記課題と連動し、違反行為の相談しやすい環境の窓口を整備しましたが、アンケートの実施には至りませんでした。	△
	③ 個人情報保護態勢を点検し、顧客情報の保護を徹底します。	○	○	○	各種内部会議や各就労支援事業内のミーティングにおいて、個人情報保護態勢を確認と再徹底を行いました。	○
3. 適正な会計処理と安定的な収支確保	① 継続して公益認定財務3基準を達成します。 (収支相償、公益目的事業比率50%以上、遊休財産保有制限)	○	○	○	令和7年度も公益認定財務3基準を達成しました。	○
	② 各経費削減に努め、安定的な収支に寄与していきます。	○	○	○	物価高騰の長期化を踏まえ、経費削減に努めました。	○
	③ 入居団体の電気料金について、使用料に応じた課金方法の検討を進めます			△		△

課題数	43	35	35	36	38
-----	----	----	----	----	----

第4期中期経営計画【見直し】

〈令和6年度～令和8年度計画〉

コンセプト（基本視点）

Connecting to the next 50 years（次の50年につなぐ）

第3期中期経営計画（令和2年度～令和4年度計画）期間においては、コロナ禍による影響をまともに受ける期間となったことや、特に令和4年度においては、ロシア・ウクライナ情勢の影響によるエネルギー価格の高騰や円安に伴う物価高騰により、当協会の経営にも大きなダメージを与える年度でありました。

また、令和5年度は、三重県労働福祉協会創立50周年（公益財団法人設立10周年）を迎える節目の年度でもありましたが、会議室利用料金・入居団体負担金の改定（引上げ）や経費削減等による収支安定に努めるとともに、先行き不透明な状況を見極めるための年度とし、令和6年度からの新たな中期経営計画の策定に向けた準備期間として位置付け、単年度計画として展開してきました。

こうした状況を踏まえ、基本的には第3期中期経営計画のビジョンである「勤労者のための組織として事業利用促進を通じて役割を発揮する」を継承し、近年の社会経済情勢や労働環境の変化に対峙しながら「次の50年につなぐ」ためのファーストステップの計画とします。

ビジョン（将来像）

勤労者のための組織として事業の利用促進を通じて役割を発揮する

マネージメント・ポリシー（経営方針）

1. 質の高いサービスで勤労者の経済的・文化的地位の向上に寄与する
2. 働きがい・生活安定の実現に向けて求職者に寄り添った支援を行う
3. 安定的な経営基盤を長期維持するため内部管理態勢の強化に努める

第4期中期経営計画の到達目標

会議室稼働率
50%

就労支援者数
390名

正味財産残高
3,500万円

1. 年間を通じて会議室の全日稼働率50%以上を目指します。
2. 各就労支援事業を通じて年間390名※以上の求職者を支援します。（※実人数）
3. 第3期中期経営計画最終年度の正味財産残高3,500万円を維持します。
（※第3期中期経営計画最終年度（令和4年度）の正味財産残高は33,582,304円です。）

第4期中期経営計画の取り組み課題

I. 施設貸与事業

1. 勤労者福祉会館としての役割発揮
2. 利用者・入居者の満足度向上
3. 各設備・施設の充実

II. 就労・就業事業

1. 就労支援事業の適正な運営
2. サポートステーション事業の強化

III. 文化事業

1. 利用者の満足度向上
2. 労働団体等との協賛

IV. 会館維持・管理事業

1. 貸与施設の老朽化対応
2. 会館の安定的な維持管理

V. 売店等事業・その他

1. 販機売上増に向けた工夫
2. ボランティア活動の継続

VI. 内部管理態勢

1. 部統制が機能する事業活動
2. 法令遵守・環境に配慮した事業活動
3. 正な会計処理と安定的な収支確保

第4期中期経営計画の取り組み課題に対する施策

I. 施設貸与事業

△：検討、◎：実施、○：継続

取り組み課題	施策事項	実施時期		
		R6年度	R7年度	R8年度
1. 勤労者福祉会館としての役割発揮	① 労働団体、労働者福祉団体等との連携による会議室利用促進を図るとともに、既利用団体や関係団体等に利用促進を働きかけます。	○	○	○
	② HP・リーフレット等での協会情報の発信や、デジタルサイネージで福祉事業団体等の情報発信を継続します。	○	○	○
	③ 会議室の貸出は、勤労者・労働団体等が行う福祉・厚生・文化活動推進のために資する研修・教育・会合等であるか適正に管理します。	○	○	○
	④ 会議室のより効率的な貸出方法（貸出単位・延長廃止等）への見直しを検討し、将来のWeb予約導入に向けた課題整理を進めます。	△	△	△
	⑤ 現在、空室となっている地階事務室（フロア）への入居団体の募集を強化し、会館運営の収支改善に寄与します。	◎	—	—
2. 利用者・入居者の満足度向上	① 会議室の利用者アンケート等により利用者ニーズを把握し、満足度向上に結び付けます。	△	◎	○
	② 入居団体の代表者で構成する管理運営委員会で入居団体の意見・要望等を把握し、満足度向上に向け改善を進めます。	○	○	○
	③ 改正健康増進法に基づく喫煙室であるかを再検証し、「喫煙室の屋外化」を検討・実施します。	△	△	△
	④ 入居団体の意見等を有効的なツールを用いて把握し、満足度向上に繋がります。	△	◎	○
【令和7年度 追加】 3. 無人店舗「Maxマート」の利用促進	① ランニングコストの軽減を目的に販売実績の拡大に向けた利用促進を進めます。（※売上実績向上がランニングコスト減に繋がられる）		◎	○
	② イートインスペースの設置に向けた検討を進めます。		△	○
4. 各設備・施設の充実	① 会議室案内のデジタルサイネージを有効活用し、各種情報提供を継続していきます。	○	○	○
	② 研修室の設備（音響設備・演台等）を更新します。	◎		
	③ 特別会議室の机・椅子を更新します。			○
	④ 第3会議室の机・椅子を更新します。			○
	⑤ 1F空室（旧住宅生協の一部）について、貸会議室としての活用を検討・実施します。			◎

II. 就労・就業事業

取り組み課題	施策事項	実施時期		
		R6年度	R7年度	R8年度
1. 就労支援事業の適正な運営	① 施設貸与事業への影響（事務・収支への負荷）を踏まえ、新たな受託事業の拡大は行わないこととします。	◎	○	○
	② 労福協、連合と連携して受託事業の周知を図り、就労・就業支援事業に資する取組を行います。	○	○	○
2. おしごと広場みえ運営事業の強化	① 事業進捗を部門職員全体で共有するとともに、改善事項があれば反映し、目標必達に向けた事業を展開します。	○	○	削除
	② 外部研修およびOJT研修など多様な研修を受講し、職員のスキルUPにつなげます。	○	○	削除
3. 地域若者サポートステーション事業の強化	① 各支援機関が実施する講演会やカウンセラー協会の研修会等に参加し、関係づくりを強化するとともに、職員のスキルUPに繋がります。	○	○	○
	② 市町の広報誌、関係機関へのリーフレット配布、ポスティングに加えマスメディアを活用し、サポステ三重の知名度UPを目指します。	○	○	○
4. その他の就労・就職支援事業の強化	① 「生活困窮者自立支援法に基づく認定訓練事業」制度に基づき、一定の配慮や支援が必要な方の社会参加の場づくりを進めます。	○	○	○
	② 就労支援事業統括者会議（年2回）を通じて、課題等の情報共有を図るとともに事業間の連携を強化します。	○	○	○

Ⅲ. 文化事業

取組み課題	施策事項	実施時期		
		R6年度	R7年度	R8年度
1. 利用者の満足度向上	① これまでの文化事業のアンケートを参考に、集客力の高い文化事業を検討・実施します。	○	○	○
	② 関係機関・団体や地域団体と連携し、必要に応じて「共催」「協賛」「後援」も含めて検討・実施します。	○	○	○
2. 労働団体等との協賛	① 労働団体等が実施する文化事業・イベントに協賛していきます。	○	○	○

Ⅳ. 会館維持・管理事業

取組み課題	施策事項	実施時期		
		R6年度	R7年度	R8年度
1. 貸与施設の老朽化対応	① 会館の老朽化・経年劣化に伴う設備等の更新・修繕を、長期計画を基本としながら三重県と連携して進めます。	○	○	○
	② 耐用年数(15年)、耐用運転時間(30,000H)を超越している「空調設備」の更新を行います。		◎	
2. 会館の安定的な維持管理	① 各種設備の法定点検・定期点検を励行し、不具合の回避や不具合の早期発見・修繕に努めます。	○	○	○
	② コロナ禍が収束に向かいつつあることを見据え、避難訓練・消火訓練など本格的な防災訓練を実施します。	◎	◎	○

Ⅴ. 売店等事業・その他

取組み課題	施策事項	実施時期		
		R6年度	R7年度	R8年度
1. 自動販売機売上増に向けた工夫	① 自動販売機の稼働状況を確認し、また入居団体等の意見を聞きながら、商品ラインナップの変更や自動販売機の入替えを検討します。	○	削除	削除
	② イートインスペースの設置に向けた検討を進めます。		削除	削除
2. ボランティア活動の継続	① ジョイセフを通じた「思い出のランドセルギフト」を継続実施します。	○	○	○

Ⅵ. 内部管理態勢

取組み課題	施策事項	実施時期		
		R6年度	R7年度	R8年度
1. 内部統制が機能する事業活動	① 理事会、評議員会を通じて内部統制機能を発揮します。	○	○	○
	② 就労支援事業統括者会議等を通じて事業間連携を強化し、事業活動を健全かつ効率的に運営します。	○	○	○
	③ 就労支援事業を中心とした職員人事異動を実施し、業務プロセスの効率化や不正行為の予防、財務報告の正確性の確保等、健全な事業活動とガバナンス向上につなげます。	○	○	○
2. 法令遵守・環境に配慮した事業活動	① コンプライアンス意識の浸透・徹底を目的に、定期的に職員研修を実施します。必要に応じて外部講師による研修を行います。	○	○	○
	② コンプライアンスに関する職員向けアンケートを実施し、コンプライアンス違反やハラスメントの無い職場環境への改善を進めます。	◎	○	○
	③ 個人情報保護態勢を点検し、顧客情報の保護を徹底します。	○	○	○
3. 適正な会計処理と安定的な収支確保	① 継続して公益認定財務3基準を達成します。 (収支相償、公益目的事業比率50%以上、遊休財産保有制限)	○	○	○
	② 各経費削減に努め、安定的な収支に寄与していきます。	○	○	○
	③ 入居団体の電気料金について、使用料に応じた課金方法の検討を進めます			△

課題数	43	35	35	36
-----	----	----	----	----